

# 第2次春日部市総合振興計画

## 重点プロジェクト

### 《まちの拠点整備・経済発展プロジェクト》

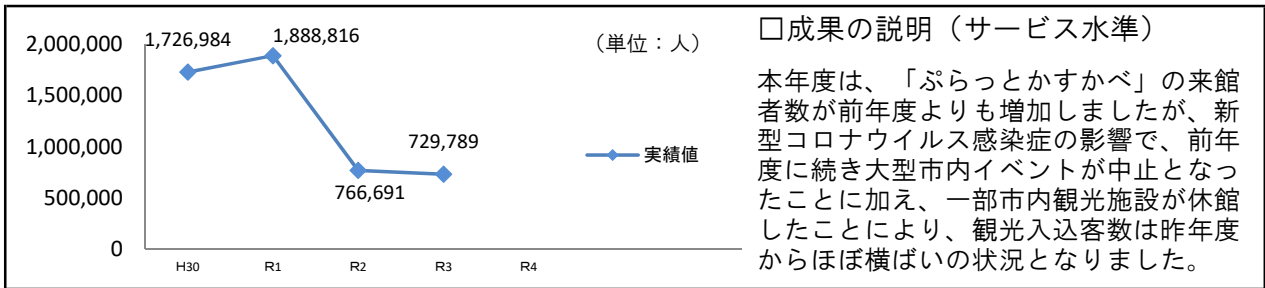
#### 進捗管理シート

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

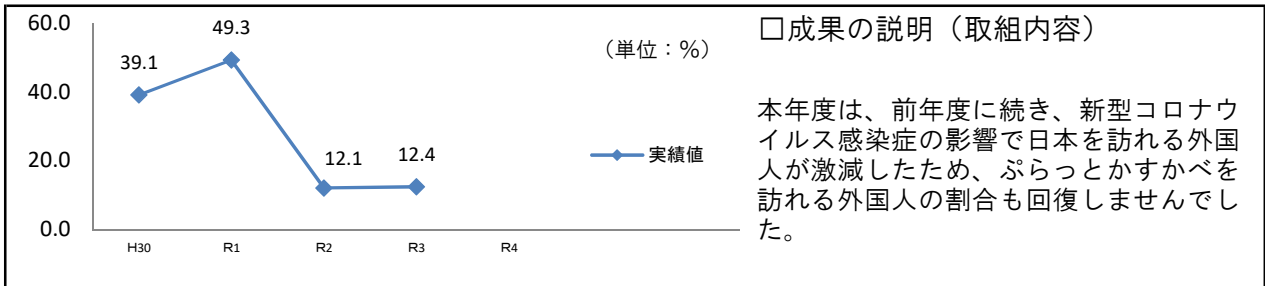
施策番号	5-1-1	実施計画No.	112	重点プロジェクトNo.	②-54	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	観光振興事業					課名	観光振興課	
事業内容	既存観光資源の魅力を向上させるとともに、新たな観光資源を創出し、これらの連続性を持たせた観光の推進と魅力の発信をします。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数					現状値 (平成29年度)	1,782,653人	
現状と課題	本市には、「春日部藤まつり」、「春日部夏まつり」、「春日部大凧あげ祭り」等の祭りや「首都圏外郭放水路」、「藤花園」、「道の駅「庄和）」、春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」等の施設があります。例年、多くの観光客が訪れ賑わいますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら事業を進めていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	
決算額(千円)	10,162	8,722	42,042	15,096	

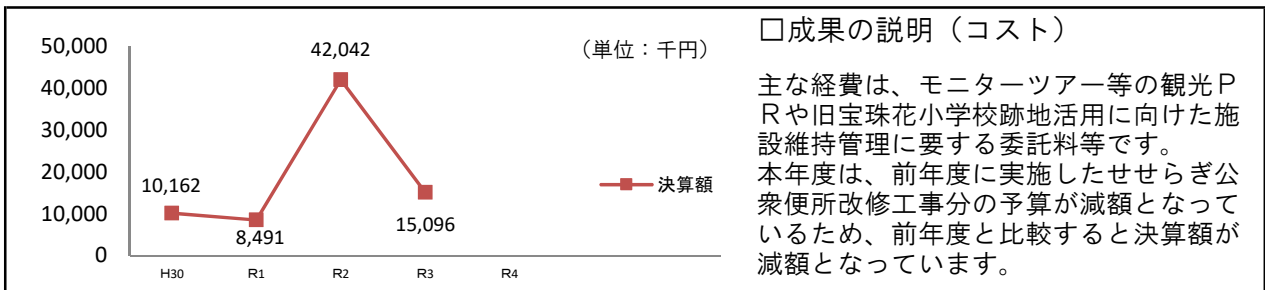
1 観光入込客数



2 ぷらっとかすかべ来館者数に占める訪日外国人の割合



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による市内イベントの中止等により観光入込客数は回復していませんが、このような状況の中において、今後の誘客に繋げるためのモニターツアーの実施や日本橋イベントスペースでのPRイベント等、新たなPRの機会を開拓し、市内観光の早期回復に向けた取組を行うことで、複数メディアに取り上げられる等、本市の観光資源の磨き上げと市内経済の活性化を図っています。	
今後の方向性	現状維持	令和3年4月1日に設立された（一社）春日部市観光協会とともに、観光関連事業者・団体、市民等と連携しながら各種の観光事業に取り組み、引き続き、観光推進体制の強化を図ります。また、そのような連携を活用しながら、新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた観光資源の磨き上げや観光客受入体制の整備等を行い、魅力を発信していくことで、市内観光の早期回復と地域経済の活性化を図ります。

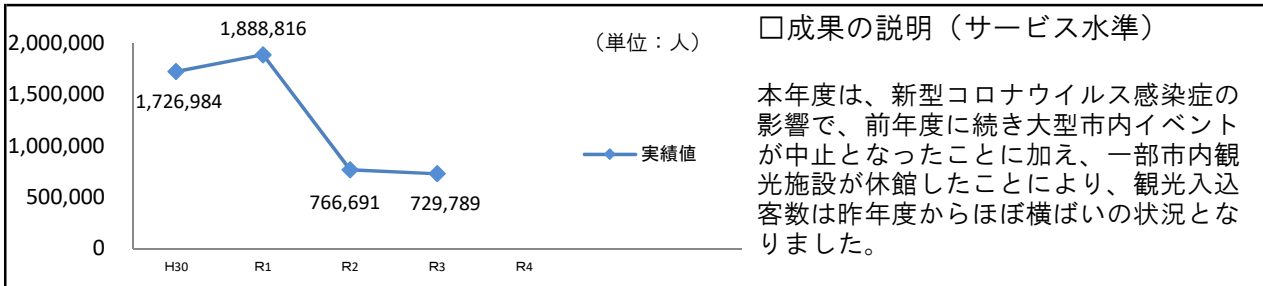
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

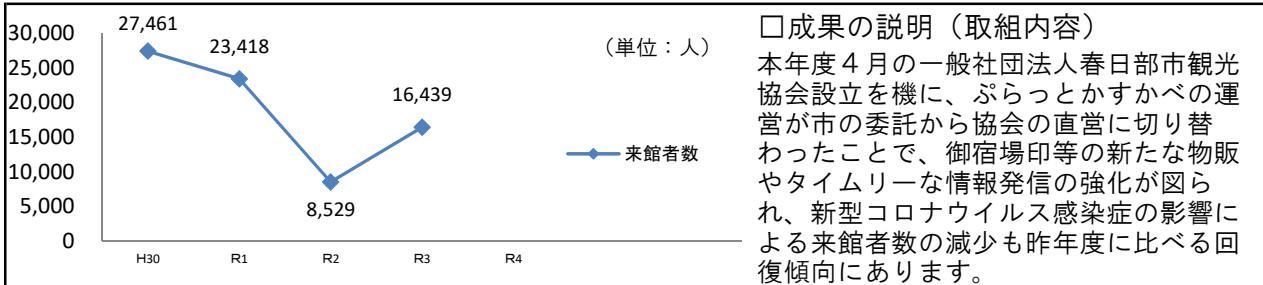
施策番号	5-1-1	実施計画No.	117	重点プロジェクトNo.	②-55	-	補助金No.	60
事業名 (補助金名)	観光協会補助金					課名	観光振興課	
事業内容	観光客とともに地域の魅力や豊かさを実感できる観光地の実現のため、一般社団法人春日部市観光協会に補助金を交付し、協会の組織及び機能のより一層の充実・強化を図ります。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数					現状値 (平成29年度)	1,782,653人	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、市内イベントの中止や訪日外国人の入国制限があり、観光入込客数が減少しているため、一般社団法人春日部市観光協会と協力し、新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた観光資源の磨き上げや観光客受入体制の整備等を進めていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	—	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	
達成率	—	—	—	36.5%	
決算額(千円)	—	—	—	38,131	

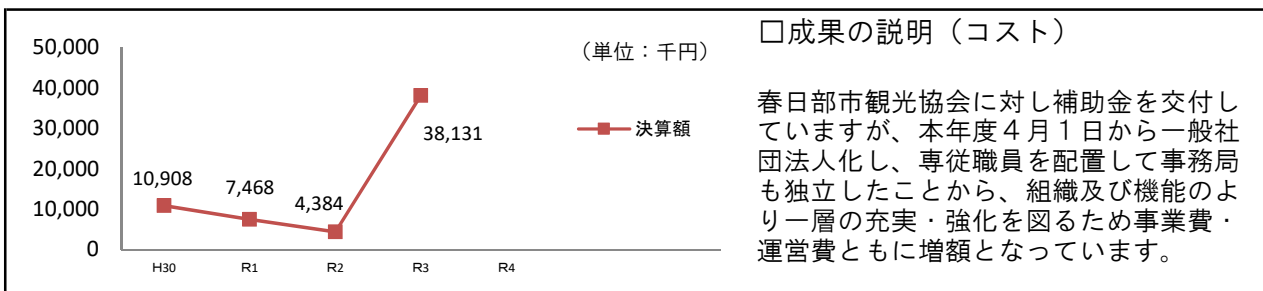
1 観光入込客数



2 「ぷらっとかすかべ」来館者数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、法人化した協会による自立的・機動的な取組により「首都圏外郭放水路おもてなし特別メニュー」の企画展開や、協会ホームページの刷新、SNSでの情報発信の強化等を行ったことで、本市の話題が複数メディアで取り上げられる等、これまで以上に効果的な観光PRを行うことができました。また、市内事業者や関連団体等との連携を図りながら、観光客が市内の様々なスポットに立ち寄る仕組みの構築を進めることで、「観光まちづくり」への機運醸成が図られました。
今後の方向性	<b>現状維持</b> 状況の変化に柔軟に対応しやすい一般社団法人春日部市観光協会との連携強化を図りながら、引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた観光資源の磨き上げや、観光客受入体制の整備を進め、魅力を発信していくことで、市内観光の早期回復と地域経済の活性化を図ります。

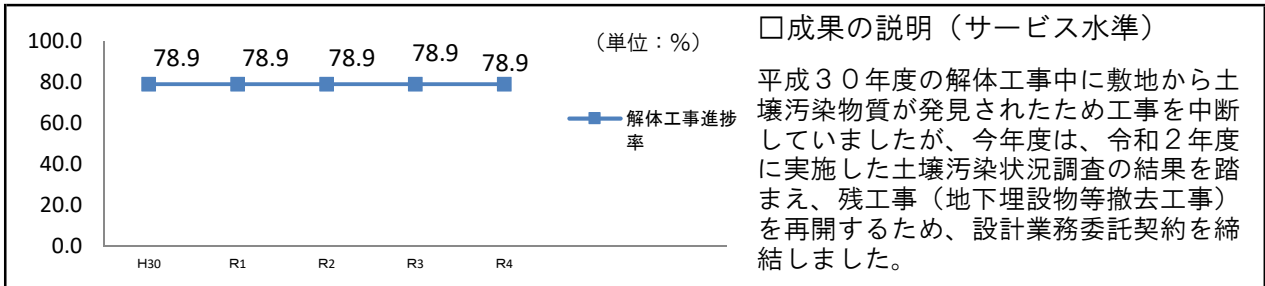
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

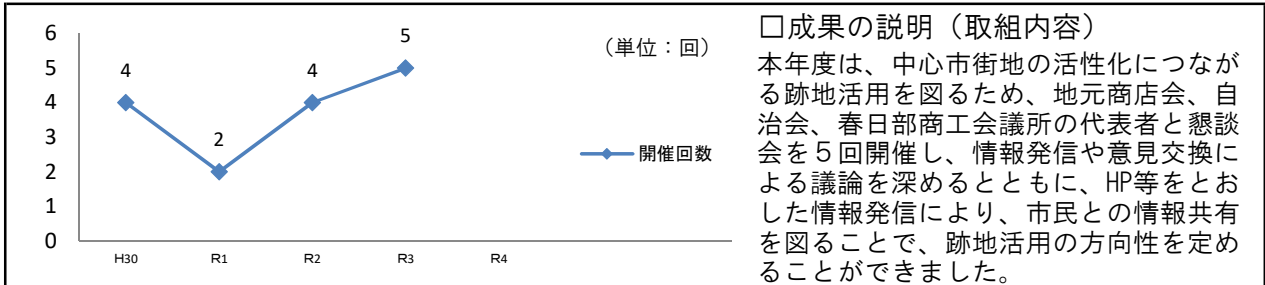
施策番号	5-1-2	実施計画No.	118	重点プロジェクトNo.	②-56	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	商工振興センター運営事業					課名	商工振興課	
事業内容	平成29年3月31日をもって閉館した春日部市商工振興センターの解体工事を滞りなく進め、中心市街地の活性化につながる跡地の活用を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	解体工事進捗率					現状値 (平成29年度)	0.0%	
現状と課題	本市中心市街地の将来を展望し、春日部駅東口地域をはじめとする市全体のにぎわいの創出、中心市街地の活性化を図るため、市民ニーズを勘案しながら、将来の行政需要を見極め、貴重な財源を効果的に活用した跡地活用を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%
達成率	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%
決算額(千円)	168,772	20,213	10,699	3,055	

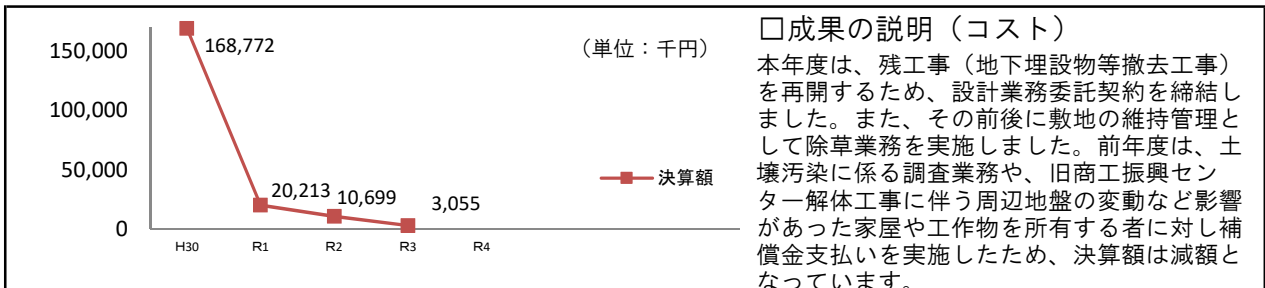
1 解体工事進捗率



2 跡地活用懇談会の開催回数



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	平成30年度の解体工事中に敷地から土壌汚染物質が発見されたため、一部の解体予定物件を残し、工事を終了してはいますが、本年度は、解体工事再開に向けた準備を進めることができました。また、民間事業者アンケート、地元懇談会や市民意見提出手続きなどを経て、跡地活用に関わる計画が策定されるなど、跡地活用の実現が近づいたものと考えています。	
今後の 方向性	拡充	土壌汚染に係る状況調査の結果をもとに、解体工事再開に係る各種手続きを進め、また、前年度に策定した跡地活用に関わる計画に合わせ中心市街地の活性化につながる跡地活用の手続きや検討が進められており、引き続き、市民をはじめ、関係機関との連携・協力をを行い、跡地活用を進めていきます。

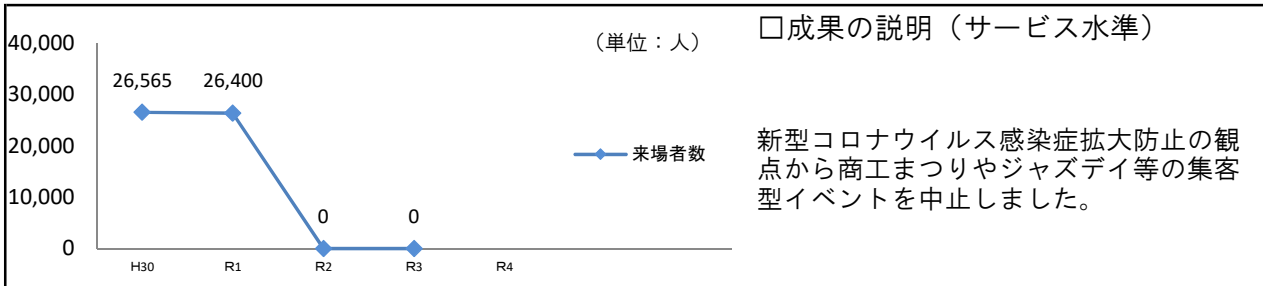
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

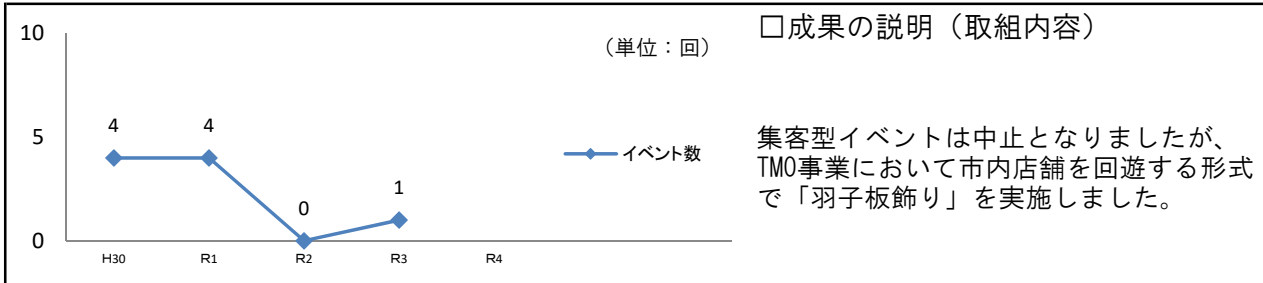
施策番号	5-1-2	実施計画No.	119	重点プロジェクトNo.	②-57	-	補助金No.	56
事業名 (補助金名)	商工会議所補助金					課名	商工振興課	
事業内容	地域商工業の総合的な改善・発達及び地域振興を図るため、春日部商工会議所が実施する、TMO事業、小規模事業推進事業、商工まつり等の各種事業に対し、補助するものです。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	イベントの来場者数（ジャズデイかすかべ、粕壁エイサーまつり、かすかべ音楽祭「まちかどコンサート」）					現状値 (令和元年度)	26,750人	
現状と課題	令和2年度から新型コロナウイルス感染症でイベントが中止となっています。感染対策を講じながらイベント等を開催し、中心市街地の活性化につなげる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	—	28,000人	28,500人
成果指標の実績値	—	—	—	—	—
達成率	—	—	—	—	—
決算額(千円)	—	—	—	25,701	—

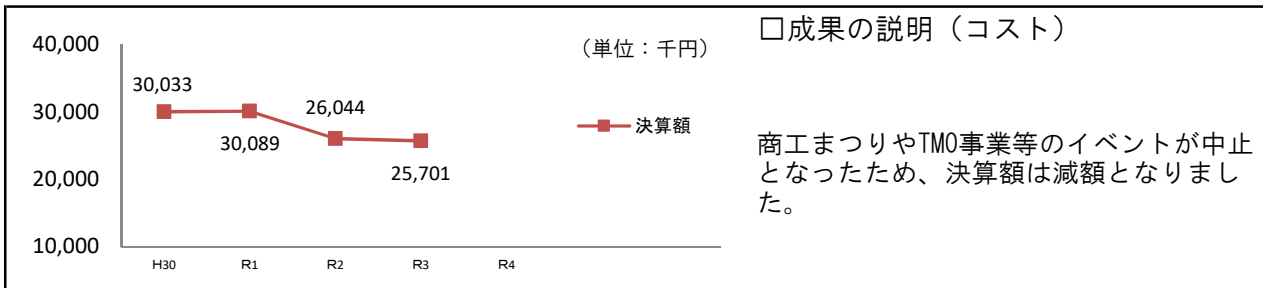
1 イベント来場者数の推移



2 イベント数の推移



3 決算額の推移



令和3年度の評価	新型コロナウイルス感染症の影響で各イベントが中止、規模を縮小しての実施となりました。感染対策を講じながら中心市街地への回遊性を高め、継続した賑わいにつなげていく必要があります。	
今後の方向性	現状維持	各イベントの賑わいを中心市街地の活性化につなげられるよう、共催する春日部商工会議所や春日部TMOとアフターコロナにおけるイベントの開催方法や周知方法について協議するなど、連携を強化します。

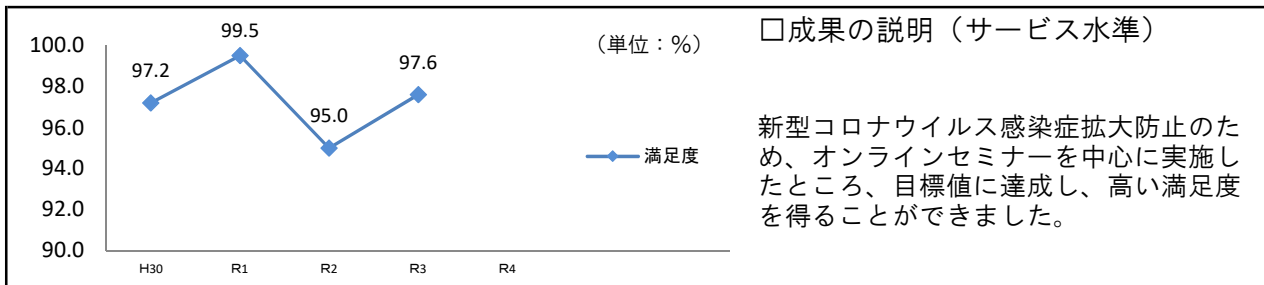
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

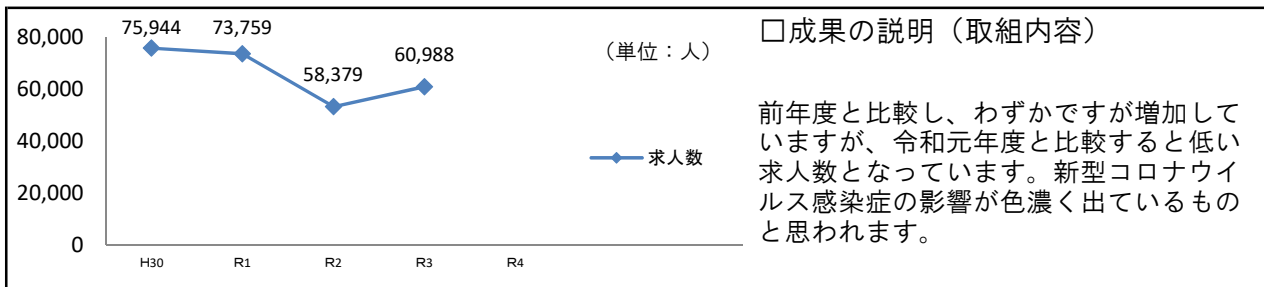
施策番号	5-2-1	実施計画No.	120	重点プロジェクトNo.	②-58	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域連携就労支援事業					課名	商工振興課	
事業内容	地域産業の理解を深め、市内中小企業の人材確保のため、就職活動中の若者や中高年、女性など、対象者の特色を踏まえたセミナー等を行うとともに、働く現場や働く人の声を聞く機会を提供します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	就職支援セミナー参加者の満足度					現状値 (平成29年度)	99.0%	
現状と課題	一年通してオンラインセミナーを開催したところ、参加者からは高い評価、満足度を達成することができました。今後も継続して実施することで認知度を上げていき受講者を増やしていくとともに、多様な働き方に対する支援が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	95.9%	96.1%	96.3%	96.5%	96.7%
成果指標の実績値	97.2%	99.5%	95.0%	97.6%	
達成率	101.4%	103.5%	98.7%	101.1%	
決算額(千円)	1,013	772	19	246	

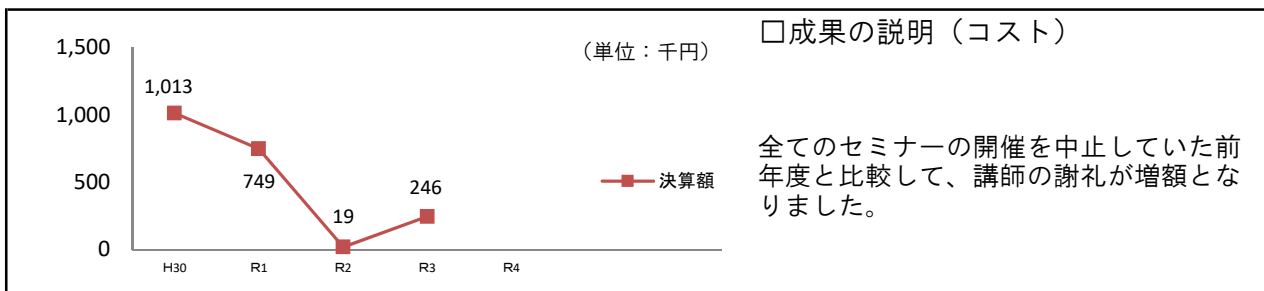
1 就職支援セミナー参加者の満足度



2 求人数（総数）（春日部公共職業安定所）



3 決算額の推移



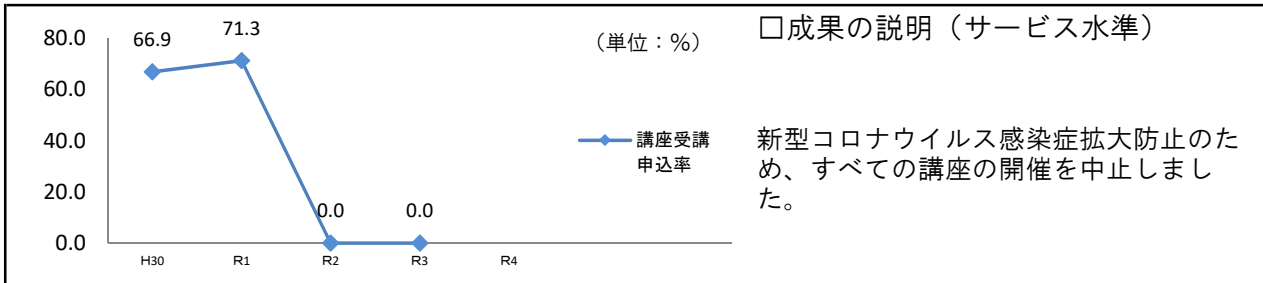
令和3年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインによるセミナーを中心に実施したところ、参加者から高い評価を得て、満足度も目標値を達成することができました。	
今後の方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う雇用情勢の変化に対応するため、就職支援やオンラインセミナー等を継続するとともに、国や県、その他関係機関と連携のもと、就労希望者や被雇用者への支援を行っていきます。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

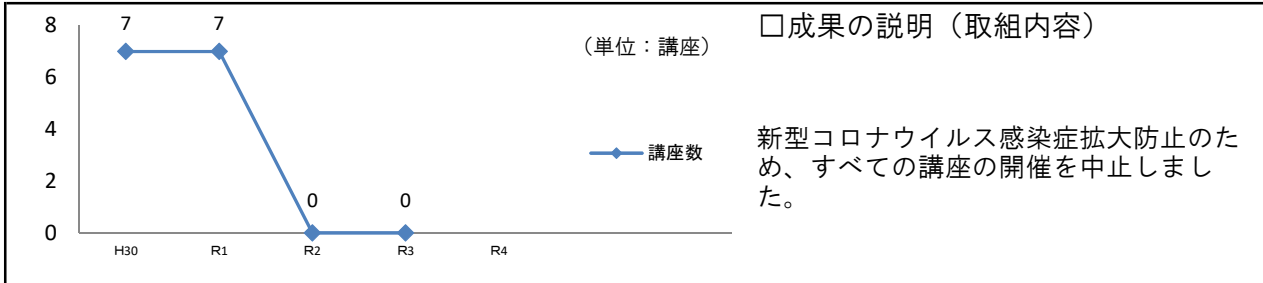
施策番号	5-2-1	実施計画No.	122	重点プロジェクトNo.	②-59	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	勤労者会館運営事業					課名	商工振興課	
事業内容	勤労者及びその家族の教養を高め、勤労者の地位向上及び福祉の増進を図り豊かな人間性を培うため、また就労を支援する講座を実施します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	講座受講申込率					現状値 (平成29年度)	61.3%	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全ての講座の開催を中止しています。新規感染者の状況を考慮し、講座の開催のあり方について検討していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	63.0%	65.0%	66.0%	68.0%	70.0%
成果指標の実績値	66.9%	71.3%	-	-	-
達成率	106.2%	109.7%	-	-	-
決算額(千円)	770	770	-	-	-

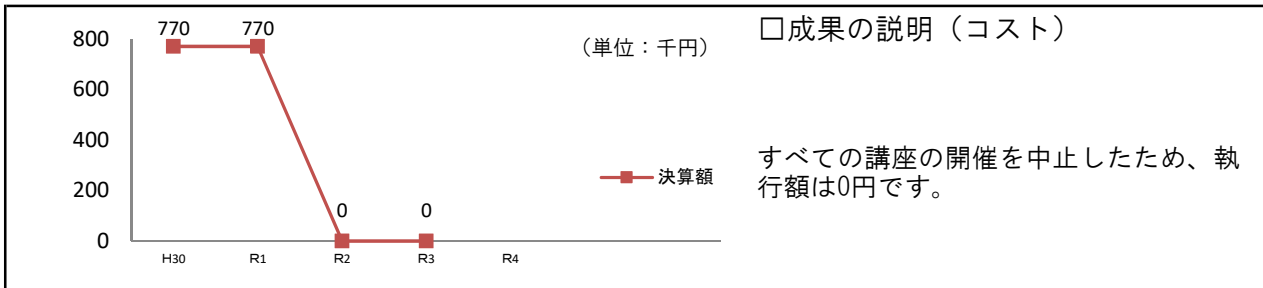
1 講座受講申込率



2 講座数の推移



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため貸館を中止したことにより、すべての講座の開催を中止したため、今年度の評価実績はありません。	
今後の 方向性	見直し	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全ての講座の開催を中止しています。新規感染者の状況を考慮しつつ、講座を再開するか検討していきます。

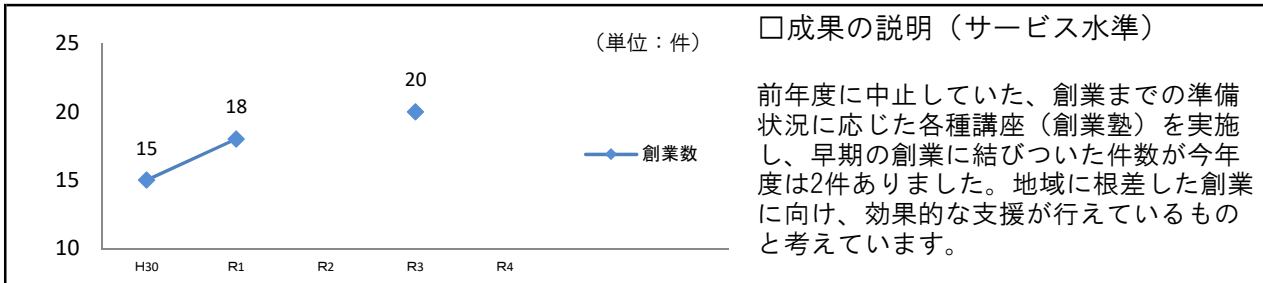
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

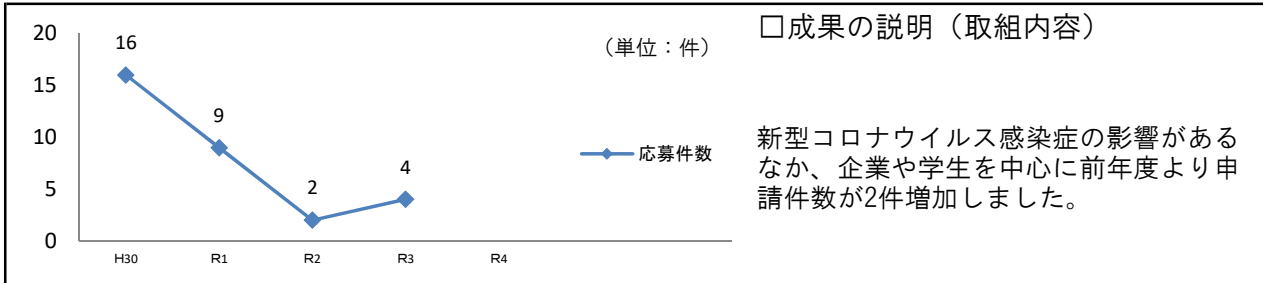
施策番号	5-2-2	実施計画No.	123	重点プロジェクトNo.	②-60	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	新産業創出支援事業					課名	商工振興課	
事業内容	中小企業者の事業拡大や創業を考えている人材の育成を促進するため、創業に関するセミナーや地域に新しい価値を創造するビジネスプランのコンテストを実施します。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数					現状値 (平成29年度)	11件	
現状と課題	既存産業の構造変化が進む中で新しい産業が期待されています。地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する継続した支援が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	10件	12件	14件	16件	18件
成果指標の実績値	15件	18件	-	20件	-
達成率	150.0%	150.0%	-	125.0%	-
決算額(千円)	253	253	127	287	-

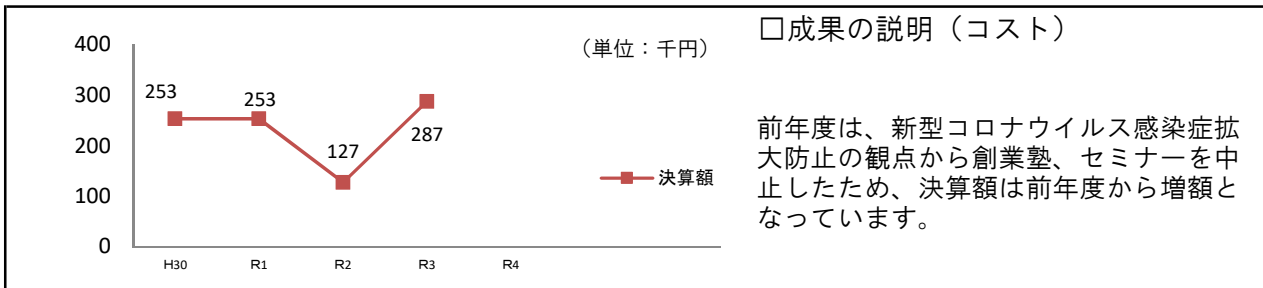
1 市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数



2 かすかべビジネスプランコンテスト応募件数



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から前年度開催を中止していた創業塾について、感染対策を行いながら再開しました。昨年度に引き続き、かすかべベンチャー応援補助金の活用対象となる創業者を募集し、新たな地域産業と雇用の創出による地域活性化を図りました。	
今後の 方向性	現状維持	引き続き、地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する支援のさらなる充実を図ります。また、セミナーなどについては、オンライン実施等、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながらの実施を検討していきます。

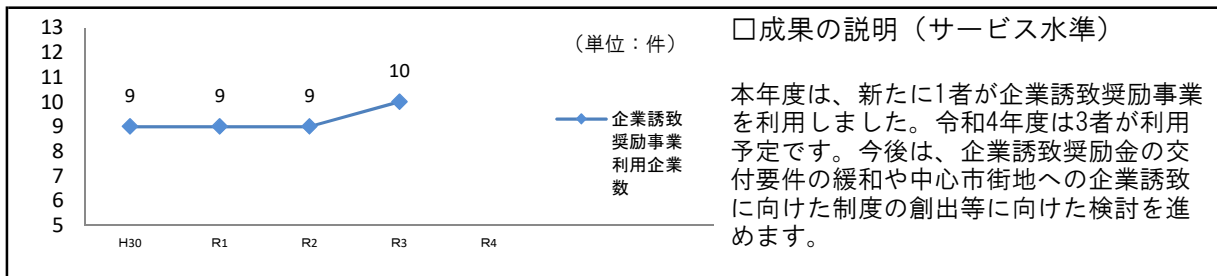
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討



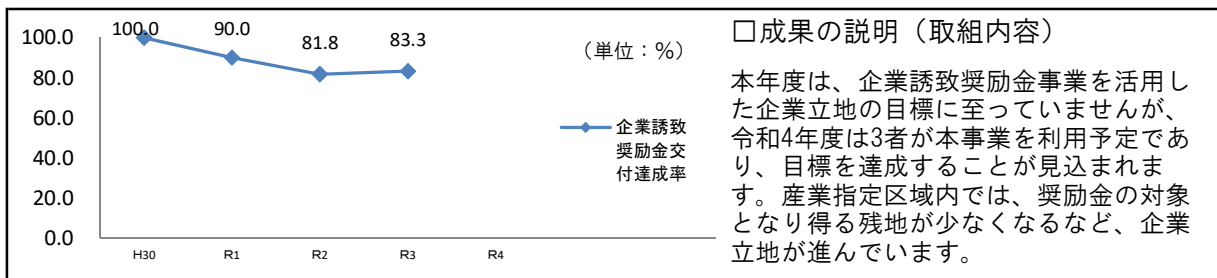
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	5-2-2	実施計画No.	125	重点プロジェクトNo.	②-61	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	企業誘致推進事業					課名	商工振興課	
事業内容	庄和I.C.周辺部を中心とした産業指定区域に工場等を新設する企業に対して奨励措置を講じることにより、企業誘致を推進し、産業の振興および雇用機会の拡大を図ります。					事業開始年度	平成15年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	企業誘致奨励事業を活用して立地した企業の件数					現状値 (平成29年度)	9件	
現状と課題	産業指定区域内への企業誘致については、奨励金の対象となり得る残地が少なくなり、企業進出が鈍化しているほか、中心市街地では、事業者の減少傾向が続いています。これらに対応するため、奨励金の交付要件の見直し及び中心市街地へ企業を誘導する補助制度等を検討していきます。							
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
成果指標の目標値	9件	10件	11件	12件	13件			
成果指標の実績値	9件	9件	9件	10件				
達成率	100.0%	90.0%	81.8%	83.3%				
決算額(千円)	17,538	14,747	327	2,317				

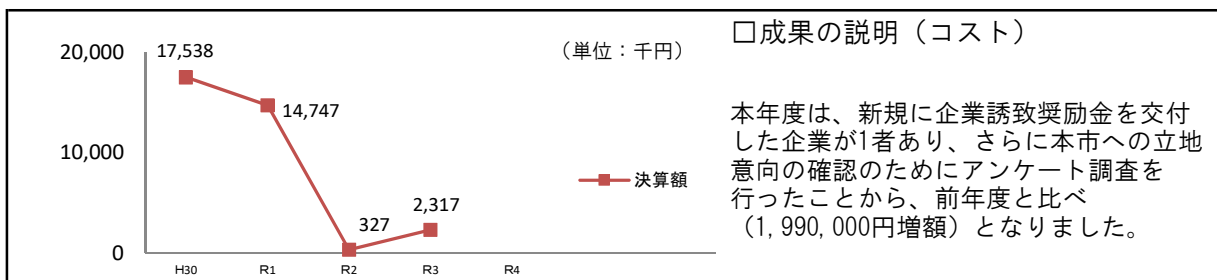
1 企業誘致奨励事業を活用して立地した企業の件数



2 企業誘致奨励金交付達成率の推移



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業訪問等は実施できませんでしたが、次年度以降に奨励金の活用を予定した企業誘致を図ることができ、さらなる、産業の振興および雇用機会の拡大を図ることができました。また、さらなる企業立地に向け、昨今の企業活動の変化を捉えるためのアンケート調査を実施するなど、企業誘致事務の推進を図ることができました。	
今後の 方向性	見直し	企業誘致活動の取組により、産業指定区域内の残地が少なくなるなど、まとまった土地利用がしにくい状況となっています。一方、中心市街地では、事業者の減少傾向が続いており、引き続き、関係機関と連携を図りながら、奨励金の交付要件の見直し及び中心市街地へ企業を誘導する補助制度を検討するなど、企業誘致を推進し、産業の振興および雇用機会の拡大を図っていきます。

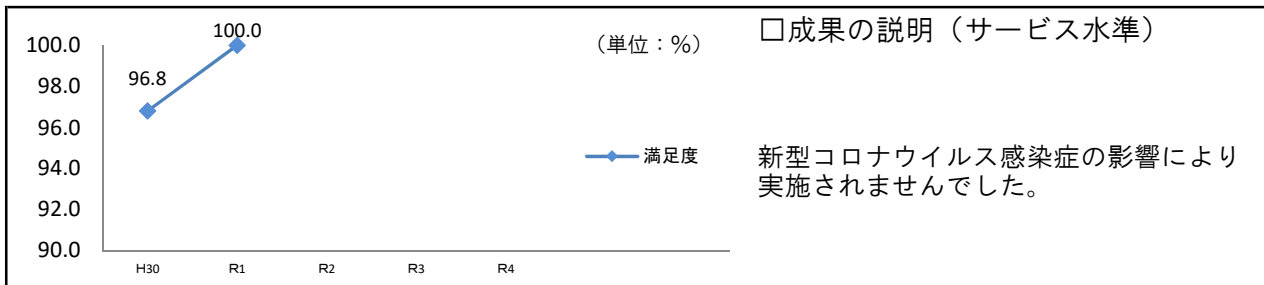
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

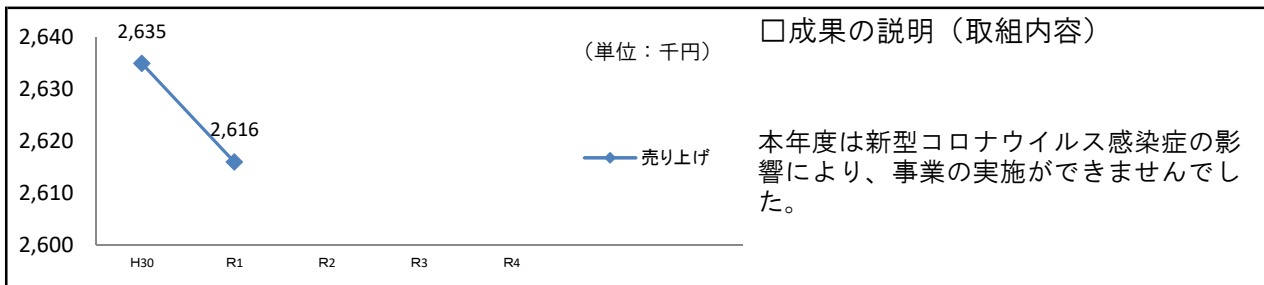
施策番号	5-3-1	実施計画No.	126	重点プロジェクトNo.	②-62	-	補助金No.	51	
事業名 (補助金名)	特産品協議会補助金					課名	商工振興課		
事業内容	市内の特産品の普及育成および販路拡大を図るため、春日部市特産品協議会が実施する事業に対し補助を行います。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	かすかべ企業シェア研修参加者の満足度					現状値 (平成29年度)	100.0%		
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、特産品協議会の事業が中止となり各イベントが実施できませんでしたが、次年度は感染対策を徹底しながら、事業実施に向けた支援が必要と考えます。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	88.5%	88.9%	89.3%	89.7%	90.0%
成果指標の実績値	96.8%	100.0%	-	-	-
達成率	109.4%	112.5%	-	-	-
決算額(千円)	1,071	1,071	804	95	

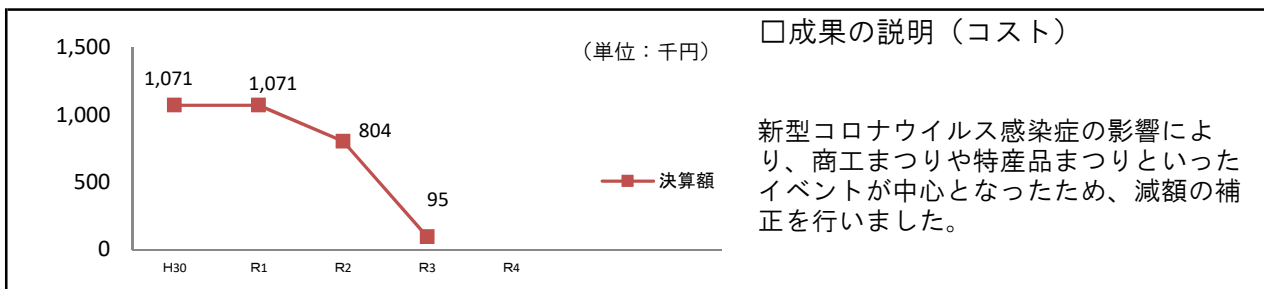
1 かすかべ企業シェア研修参加者の満足度



2 展示会・催事等売り上げ



3 決算額の推移



令和3年度の  
評価

イベントの中止により、特産品の売り上げやPRの場が減っていることから、販売促進や新たなPR方法についての検討、支援が必要と考えます。

今後の  
方向性

現状維持

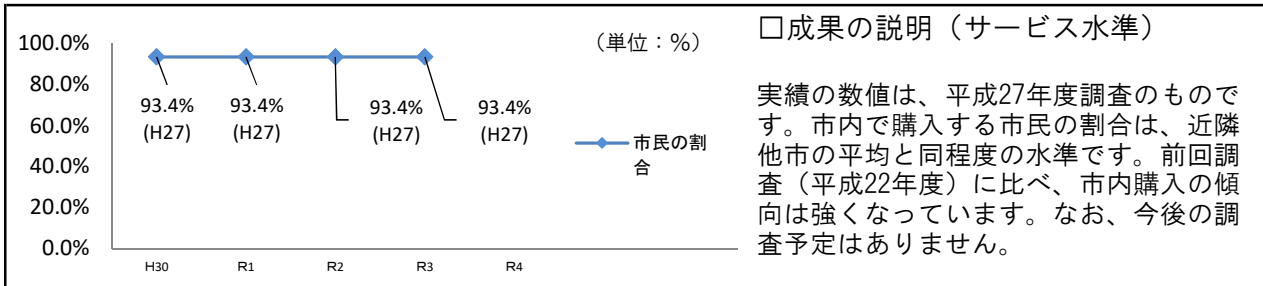
引き続き、イベントでの実演販売や物産展示場によるPRに取り組むとともに、同協議会とともに、新たな販路拡大の方法やPR方法について検討します。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

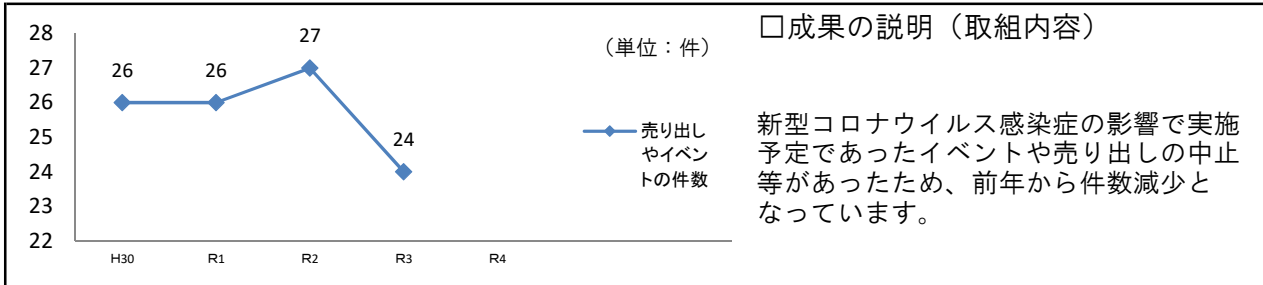
施策番号	5-3-2	実施計画No.	128	重点プロジェクトNo.	②-63	-	補助金No.	52
事業名 (補助金名)	商店街活性化推進事業費補助金					課名	商工振興課	
事業内容	商店街の環境整備および活性化を図るため、各商店街等が実施する共同事業に対し補助を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合 (埼玉県広域消費動向調査)					現状値 (平成29年度)	93.4% (平成27年度)	
現状と課題	地元商店街では、駐車場の整備やバリアフリー化など、安心して買い物を楽しんでもいただけるための環境づくりが求められています。また、イベント等の開催により、その魅力を発信し、集客を図っていくことも必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	93.4%	93.4%	94.0%	94.0%	94.0%
成果指標の実績値	-	-	-	-	-
達成率	-	-	-	-	-
決算額(千円)	10,162	17,143	7,420	7,531	

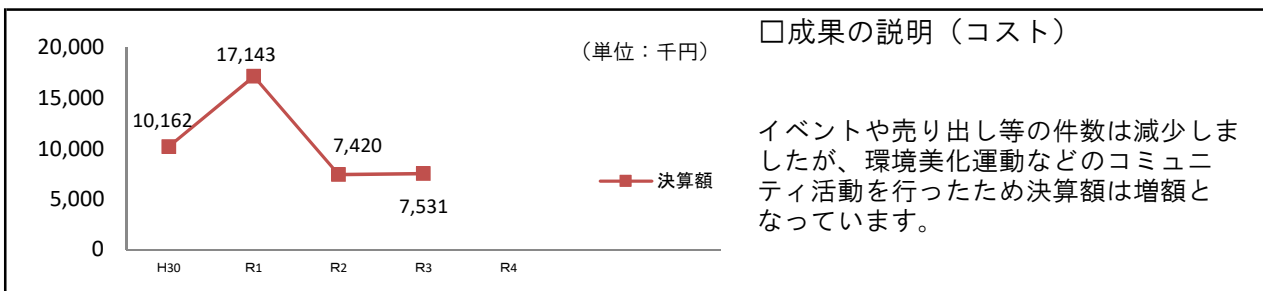
1 食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合（埼玉県広域消費動向調査）



2 商店街が実施するイベントや売り出しの件数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	各商店会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施予定であったイベントの中止等がありました。電気料等の経費的負担が軽減された財源を活用して、感染拡大防止策を講じて実施、また代わりとなるイベントや売り出し等の事業を実施した商店会もありましたが、大幅な集客には至っていない現状です。	
今後の方向性	現状維持	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業等、消費者が安心して利用できるよう支援するなど、これからの商店街のあり方を模索し、支援していきます

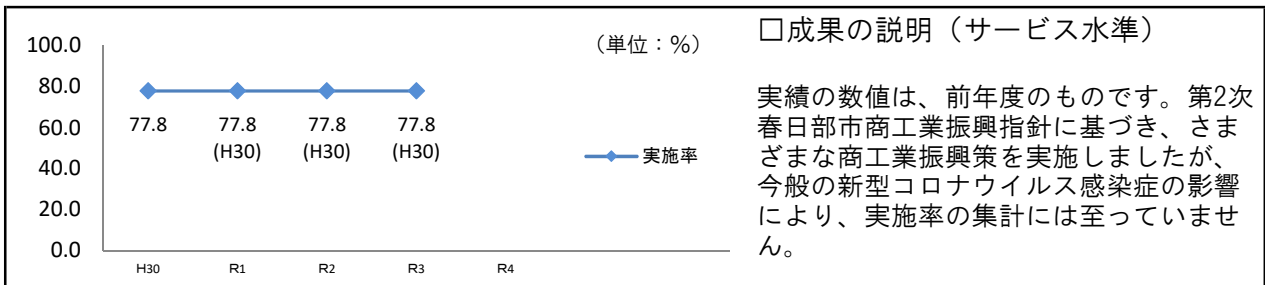
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

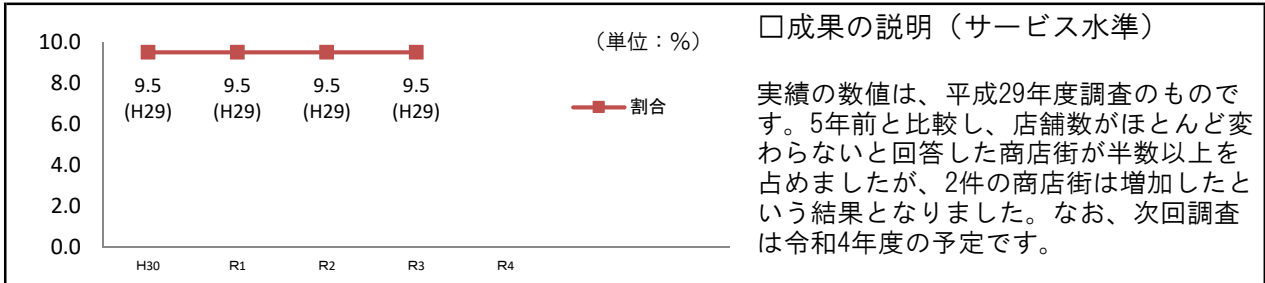
施策番号	5-3-2	実施計画No.	129	重点プロジェクトNo.	②-64	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	商工振興事業					課名	商工振興課	
事業内容	市内商工業の育成と振興を図るため、関係者及び有識者による商工振興委員会において調査・研究を行い、施策に反映させます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	第2次春日部市商工業振興指針施策実施率					現状値 (平成29年度)	-	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市内事業者を取り巻く環境は変化してきています。市内の商工業を支える中小企業・小規模事業者、個人事業者に対する緊急かつ効果的な支援が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70.0%	77.5%	85.0%	92.5%	100.0%
成果指標の実績値	77.8%	-	-	-	-
達成率	111.1%	-	-	-	-
決算額(千円)	2,427	780	3,770	283	-

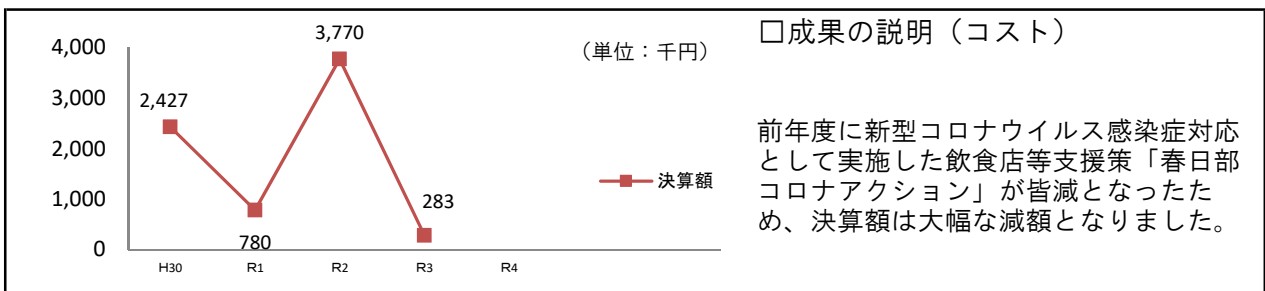
1 第2次春日部市商工業振興指針施策実施率



2 店舗数が増加傾向にある商店街の割合（商店街経営実態調査）



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市内の経済活動が著しく停滞する事態に陥り、様々な支援策を実施しましたが、緊急事態宣言の再発令などにより、依然として市内の事業者は厳しい状況が続いています。	
今後の 方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた市内商工業者に対する効果的な支援について調査・研究を行い、今後の商工業振興施策に反映していきます。また、令和4年度中に第3次商工業振興指針の策定を予定しています。

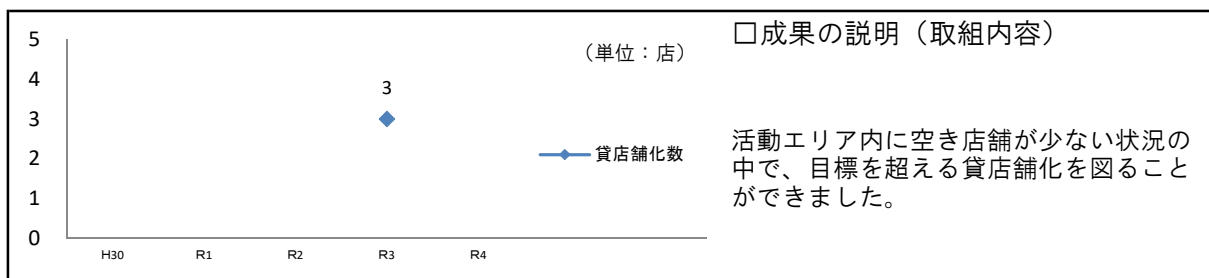
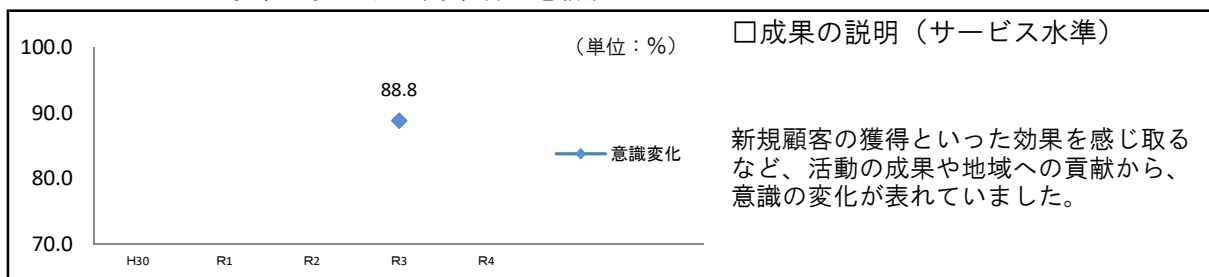
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

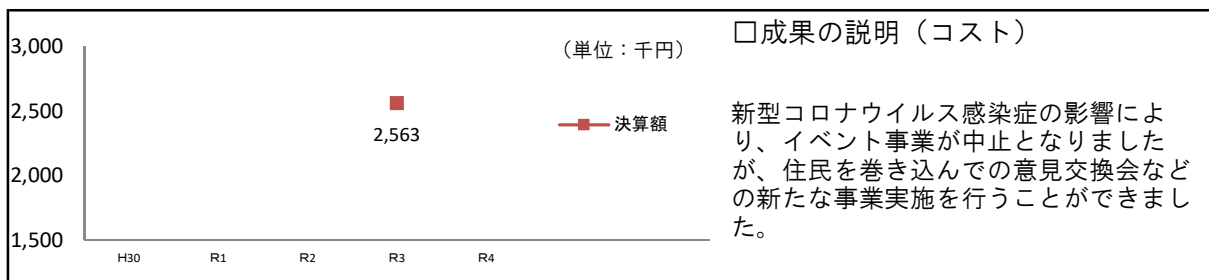
施策番号	5-3-2	実施計画No.	130	重点プロジェクトNo.	②-65	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部市NEXT商店街プロジェクト事業					課名	商工振興課	
事業内容	次世代が誇りを持てる持続可能な商店街を形成することを目的に、危機感が強く意欲の高い商店街に外部専門家を派遣し、商店街の魅力を高めるための取組を支援します。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	プロジェクト事業に参加する商業者の意識変化					現状値 (令和2年度)	79.0%	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響から、予定したイベントが中止となるなど、計画が一部変更になりましたが、新たな事業を手掛けるなどの積極的な展開が行われました。他の商店街にも波及させ広域で効果を得ていくための支援が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	—	80.0%	81.0%
成果指標の実績値	—	—	—	88.8%	—
達成率	—	—	—	111.0%	—
決算額(千円)	—	—	—	2,563	—

1 プロジェクト事業に参加する商業者の意識変化



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	県事業を引き継ぐだけでなく、新たに住民との意見交換会や個店のスキルアップにつながる事業を実施することができました。他の商店街にも事業を展開し波及効果を得るための支援の継続が必要です。	
今後の 方向性	現状維持	事業に参加する商店街を募り、専門家の指導・助言を受けながら、人材育成と商店街の魅力を高めていく方法を検討します。

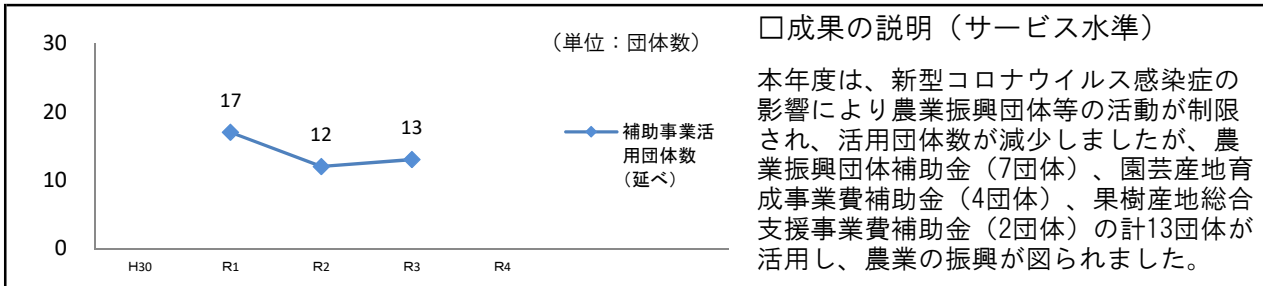
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

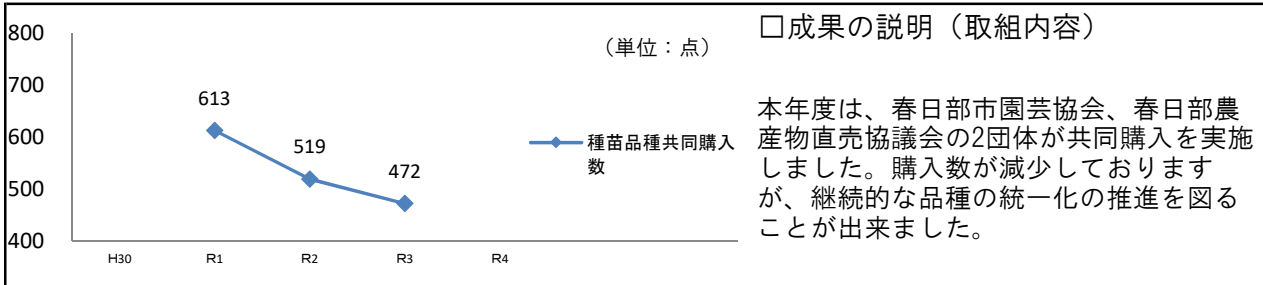
施策番号	5-4-2	実施計画No.	144	重点プロジェクトNo.	②-66	-	補助金No.	64	65	69
事業名 (補助金名)	農業振興団体補助事業					課名	農業振興課			
事業内容	市の農業振興を図るため、市内の農業振興団体が実施する事業に対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	令和元年度			
						事業見直し年度	令和2年度			
成果指標	補助事業活用団体数（延べ）					現状値 (平成30年度)	—			
現状と課題	農業従事者の高齢化や後継者不足などの課題解消や園芸産地育成、果樹産地の振興を図るため、事業への効果的な取り組みを推進していく必要があります。									

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	17団体	18団体	19団体	20団体
成果指標の実績値	—	17団体	12団体	13団体	
達成率	—	100.0%	66.7%	68.4%	
決算額(千円)	—	4,900	4,716	4,424	

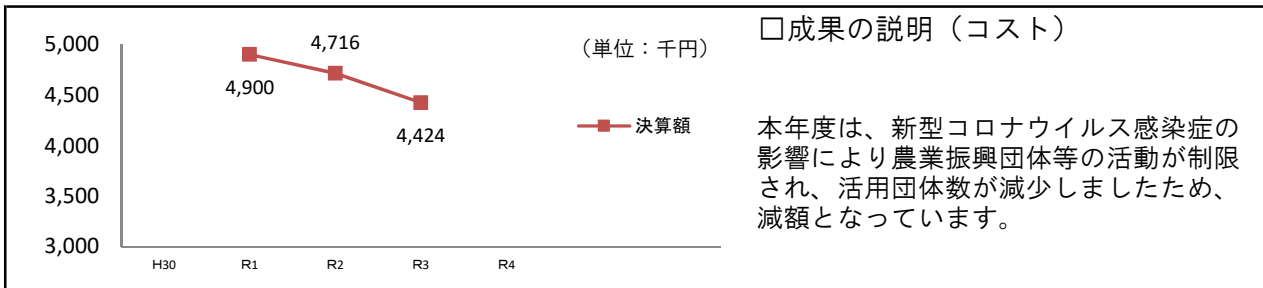
1 補助事業活用団体数（延べ）



2 種苗品種共同購入数



3 決算額の推移



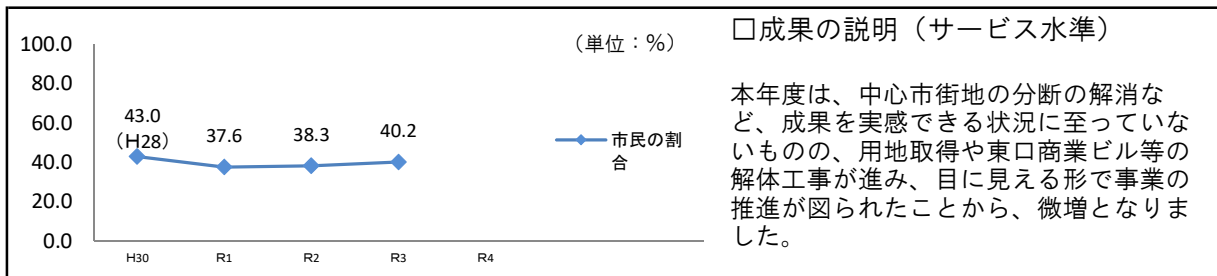
令和3年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各農業振興団体とも活動が制限され、取組んだ事業数も減少しましたが、可能な範囲での活動が行われたことで、補助事業の活用に繋がったものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、コロナ禍においても、引き続き、農業振興団体と連携を図りながら、継続的に支援し、農業振興を推進していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

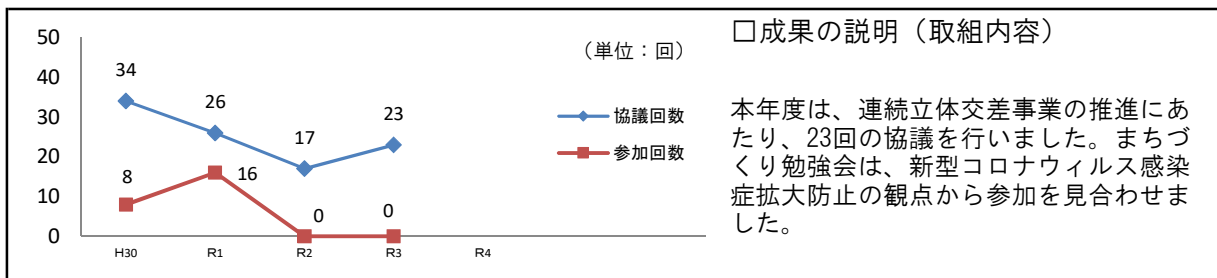
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	6-1-1	実施計画No.	145	重点プロジェクトNo.	②-67	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	連続立体交差推進事業					課名	鉄道高架整備課		
事業内容	春日部駅周辺にある多数の踏切を除却し、交通渋滞、踏切事故などを解消し分断されている市街地を一体化して、住民や来街者の利便性を高め、中心市街地の活性化を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	43.0% (平成28年度)		
現状と課題	中心市街地が鉄道で分断されているという街の構造を解消するため、埼玉県が事業主体となっている連続立体交差事業の早期完成と、連続立体交差事業と一体となったまちづくりに取り組み、中心市街地が抱える様々な問題を抜本的に解決する必要があります。								
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
成果指標の目標値		43.0%	45.0%	47.0%	49.0%	51.0%			
成果指標の実績値		-	37.6%	38.3%	40.2%				
達成率		-	83.6%	81.5%	82.0%				
決算額(千円)		6,291	177,550	893,870	579,463				

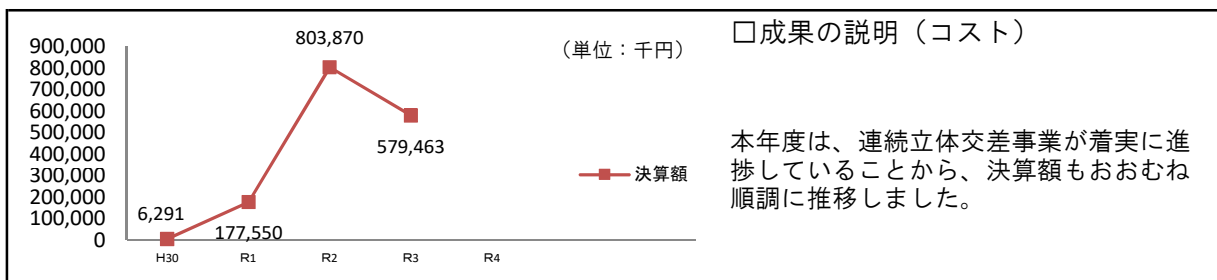
1 春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）



2 関係機関（国、県、鉄道事業者）との協議回数とまちづくり勉強会への参加回数



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	本年度は、県、東武鉄道と連携し、用地の取得が進んだことで、連続立体交差事業の完成に近づいたものと考えています。	
今後の 方向性	拡充	連続立体交差事業の完成に向けて、引き続き関係機関と連携を図りながら、事業用地の取得と東口側の仮線工事に取り組んでまいります。

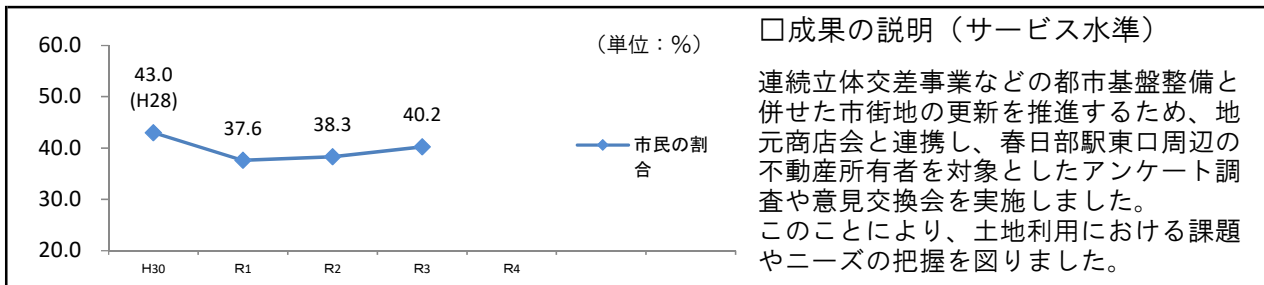
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

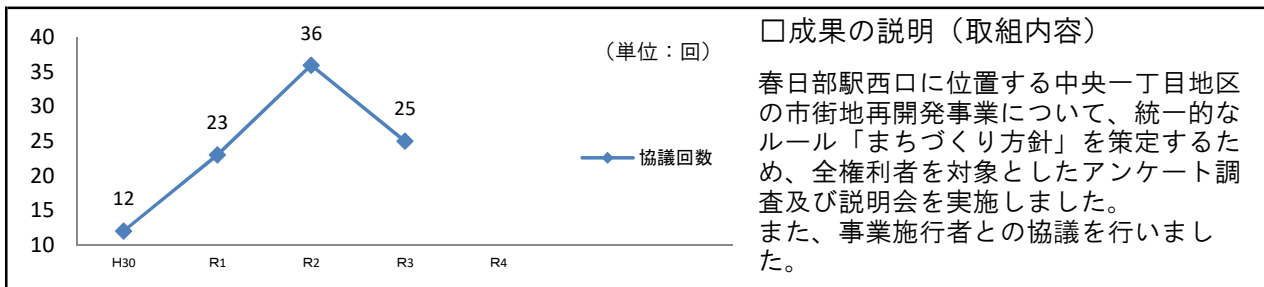
施策番号	6-1-1	実施計画No.	146	重点プロジェクトNo.	②-68	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域整備推進事務					課名	都市計画課	
事業内容	土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、都市基盤施設の整備を行い、中心市街地のにぎわいを創出します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	43.0% (平成28年度)	
現状と課題	春日部駅周辺地区には、老朽化した建物や小規模な店舗が密集した区域があります。連続立体交差事業などの都市基盤整備との連携を図り、地区の特性やニーズに応じた市街地の更新を進め、にぎわいのあるまちづくりに向けた取り組みが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.0%	45.0%	47.0%	49.0%	51.0%
成果指標の実績値	-	37.6%	38.3%	40.2%	-
達成率	-	83.6%	81.5%	82.0%	-
決算額(千円)	150	1,913	126	14,841	-

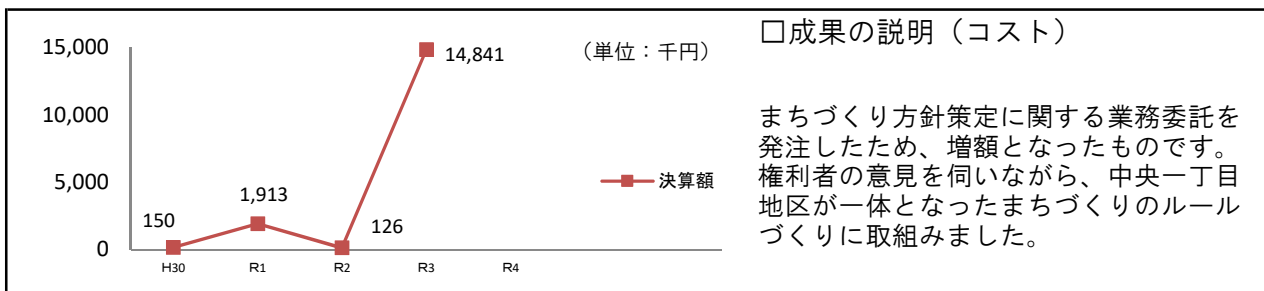
1 春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）



2 再開発準備組合（事業施行者）との協議回数



3 決算額の推移



令和3年度の評価  
権利者と市は、これまでの「区域内に目一杯大きな建物を建てる再開発」から「区域内の合意形成の整った箇所ごと段階的に事業化する再開発」へと事業方針を改めました。段階的な事業化を進めるうえで、街並みの統一や、住宅・商業・サービスなどの用途バランスを揃えることが重要であるため、中央一丁目地区全体の統一的なルールとして、まちづくり方針を策定しました。

今後の方向性  
現状維持  
まちづくり方針を担保するため、「地区計画」として都市計画に位置付けるための検討を行います。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

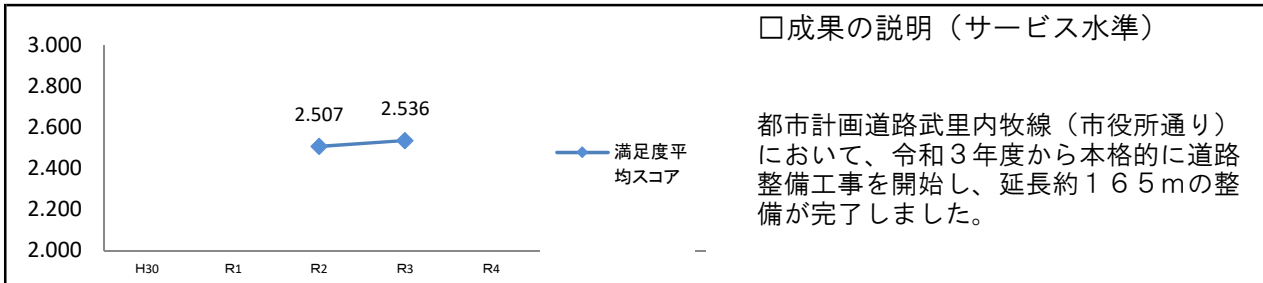


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

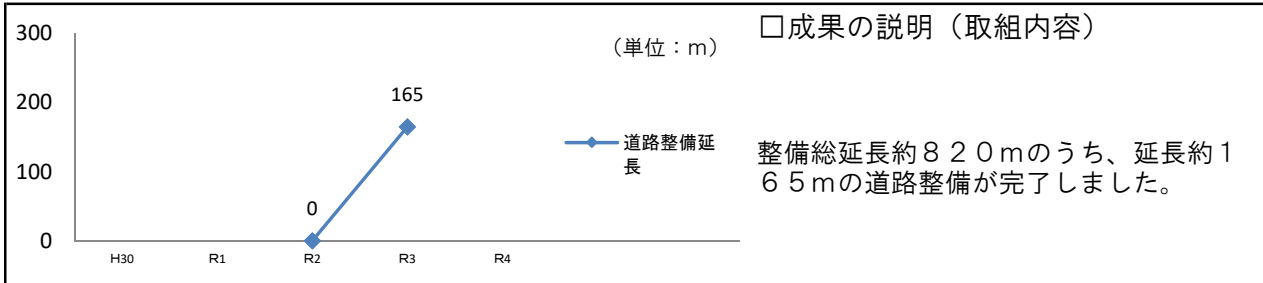
施策番号	6-1-1	実施計画No.	147	重点プロジェクトNo.	②-69	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部駅西口環境整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	都市計画道路武里内牧線（市役所通り）において、環境に配慮した自動車に頼らない回遊ネットワークの再整備を行うことで、春日部駅周辺地域の都市機能の再構築と持続可能な都市構造を推進します。					事業開始年度	令和2年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	「魅力とにぎわいのある中心市街地の創出」の満足度平均スコア（市民意識調査）					現状値	2.387 (令和元年度)	
現状と課題	春日部駅周辺地域は、近年、大型商業施設の撤退や郊外型商業施設の進出などの影響を受けて、にぎわいや活気が低下しているため、都市機能の再構築を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	2.387以上	2.387以上	2.387以上
成果指標の実績値	-	-	2.507	2.536	
達成率	-	-	105.0%	106.2%	
決算額(千円)	-	-	21,580	134,213	

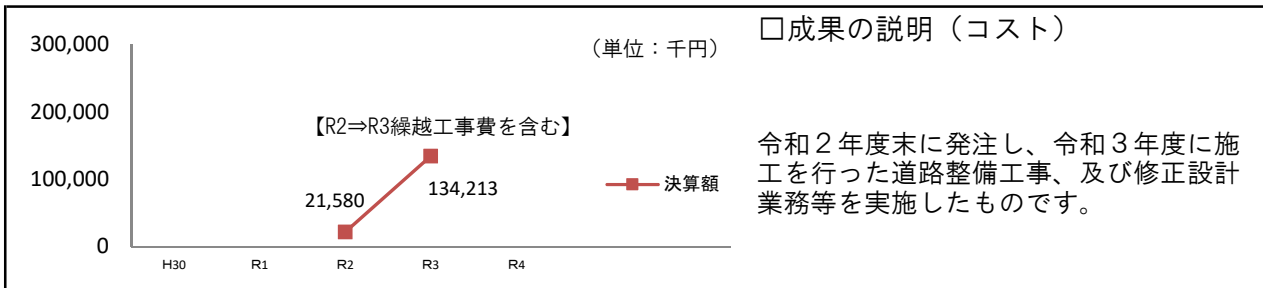
1 「魅力とにぎわいのある中心市街地の創出」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 道路整備延長



3 決算額の推移



令和3年度の評価	令和3年度から本格的に道路整備工事が開始され、都市計画道路武里内牧線（市役所通り）と市道2-33-2号線（陸橋通り）を合わせた整備総延長約820mのうち、延長約165m、進捗率で約20%の道路整備が計画通り完了しました。	
今後の方向性	現状維持	魅力とにぎわいのある中心市街地の創出に向けて、計画的に道路整備工事を実施していきます。

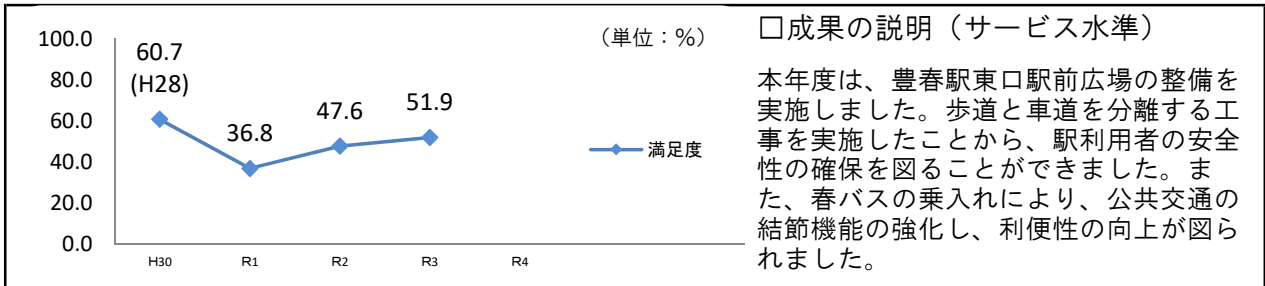
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

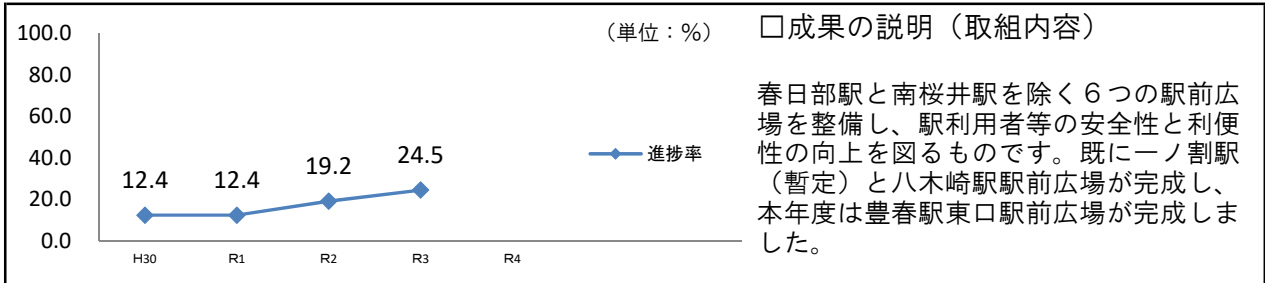
施策番号	6-1-2	実施計画No.	148	重点プロジェクトNo.	②-70	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域拠点駅まちづくり事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	鉄道駅周辺の都市基盤整備を実施します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「安全で良好な市街地の形成」に満足している市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	60.7% (平成28年度)		
現状と課題	今後の社会情勢の変化に対応した持続可能な都市経営を図るため、安全で利便性の高い駅を中心とした新たなまちづくりが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	62.4%	64.1%	65.8%	67.5%	69.2%
成果指標の実績値	-	36.8%	47.6%	51.9%	-
達成率	-	57.4%	72.3%	76.9%	-
決算額(千円)	28,537	47,936	138,123	91,753	-

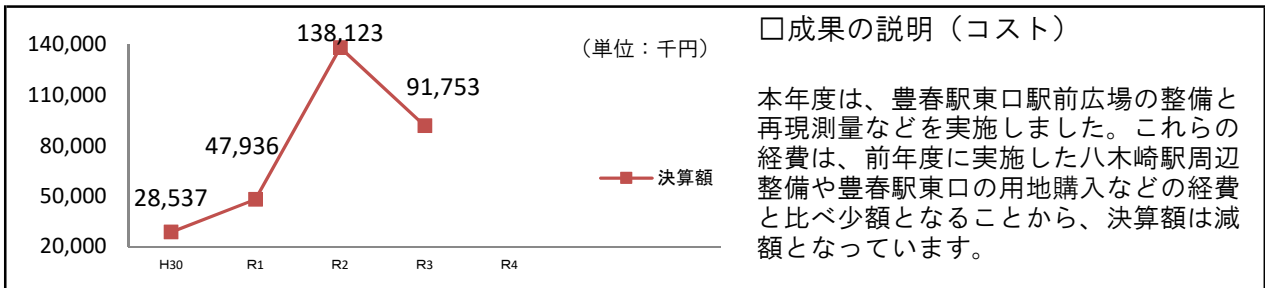
1 「安全で良好な市街地の形成」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 駅前広場（6駅）整備の進捗割合



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	本年度は、豊春駅東口駅前広場の整備を実施しました。この取り組みにより、駅利用者の安全性と地域拠点としての駅周辺の利便性を向上させ、鉄道駅を中心とした市街地の形成と公共交通によりネットワーク化されたコンパクトなまちづくりが推進できたと考えています。
今後の 方向性	見直し 今後の少子高齢化やアフターコロナといった社会情勢の変化を見据え、過度に自家用車に頼ることなく、誰もが歩いて暮らせる持続可能なまちを目指し、鉄道駅を中心とした市街地の形成と、これらを公共交通で結ぶネットワークによる連携したまちづくりを目指します。令和4年度は、豊春駅東口駅前広場周辺の地盤変動影響事後調査、被害物件への補償を行うとともに、アフターコロナを見据えた新たなまちづくりに向け、調査・研究に取り組んでまいります。

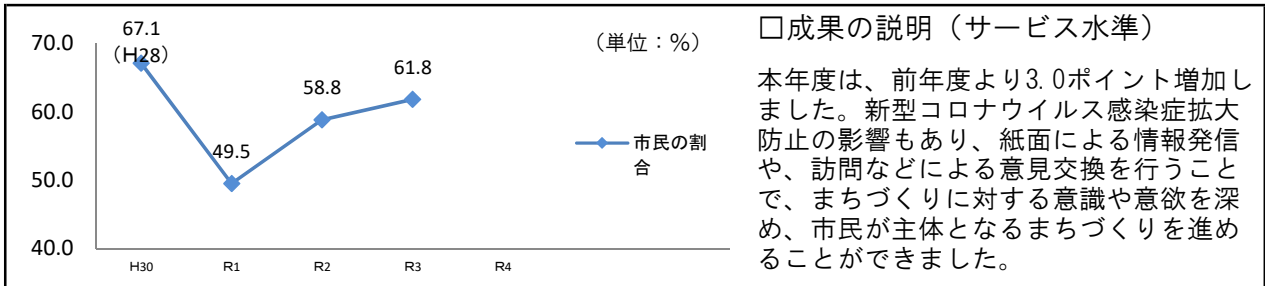
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

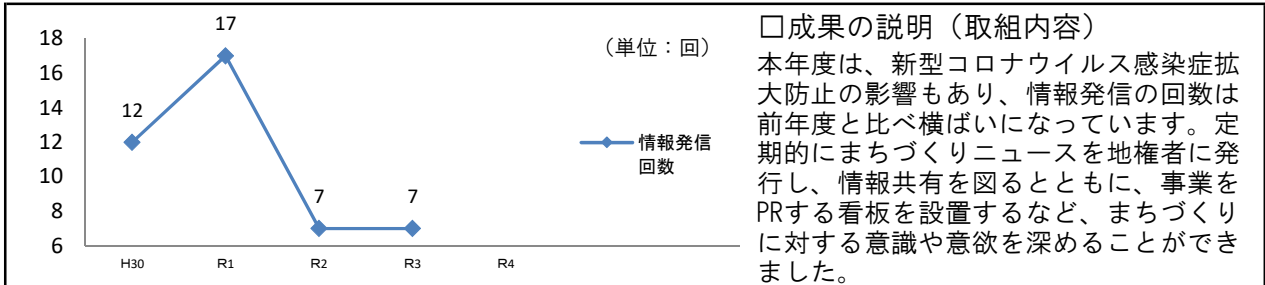
施策番号	6-1-3	実施計画No.	149	重点プロジェクトNo.	②-71	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	北春日部駅周辺地区のまちづくり事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	地元組織とともに選ばれる魅力的なにぎわいのあるまちを目指して、計画的な土地利用や環境整備に協働して取り組みます。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	67.1% (平成28年度)	
現状と課題	全国的に住宅や店舗などの郊外立地が進み、市街地が拡散し、市街化区域の低密度化による市民サービス、都市インフラの維持に支障がでることが懸念されます。このため、駅を中心とした集約された公共性と効率性のバランスのとれたまちづくりが必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	68.5%	69.2%	69.9%	70.6%
成果指標の実績値	-	49.5%	58.8%	61.8%	-
達成率	-	72.3%	85.0%	88.4%	-
決算額(千円)	117,327	26,350	62,097	2,597	-

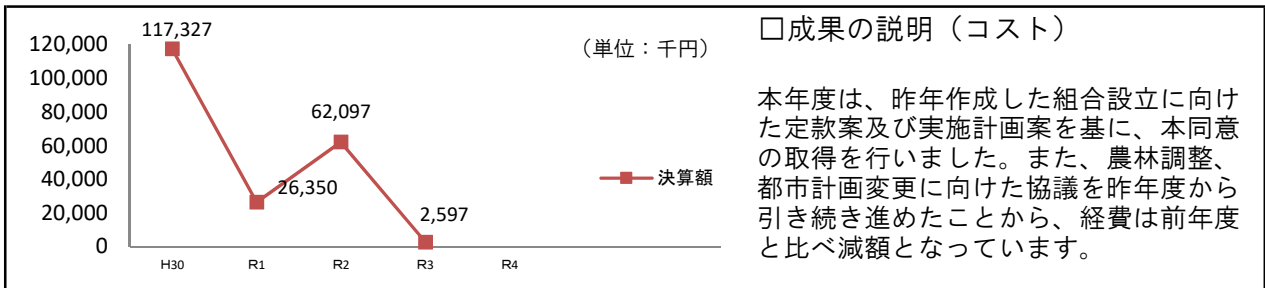
1 「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 北春日部駅周辺地区土地地区画整理に関する情報発信回数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、北春日部駅周辺土地地区画整理事業において、準備会の役員会4回及び説明会1回の実施と、まちづくりニュースの発行やPR看板の設置など情報発信を行い、まちづくりに対する意識・意欲を深めることで、市民が主体となるまちづくりを進めることができました。また、土地地区画整理組合の設立に必要な本同意について、90%以上の同意を取得しました。さらに、農林調整が整い、都市計画手続きに着手し、北春日部駅周辺地区土地地区画整理事業の実現に近づきました。
今後の方向性	<b>現状維持</b> 土地地区画整理組合の設立に向けた本同意の取得により、北春日部駅周辺地区のまちづくり事業を計画的に推進しています。今後は、都市計画変更に向けた手続きを進めるとともに、組合設立認可申請に向けた準備についても取り組み、令和4年度内の都市計画変更告示、組合設立認可ののち、組合設立総会、事業着手を目指してまいります。

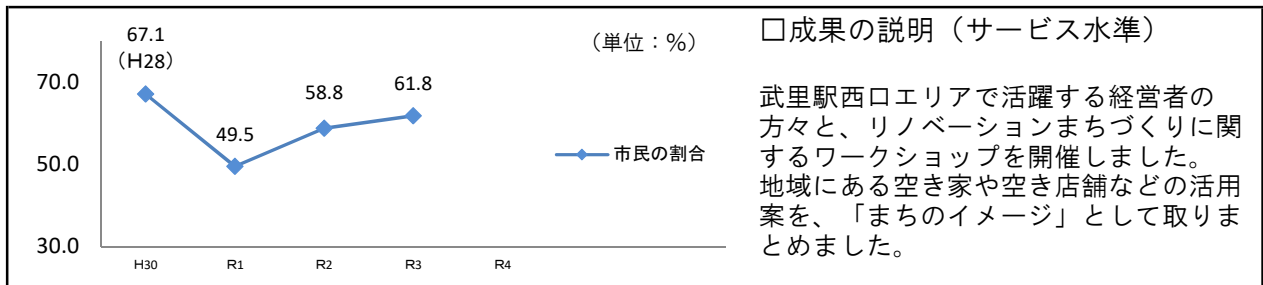
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

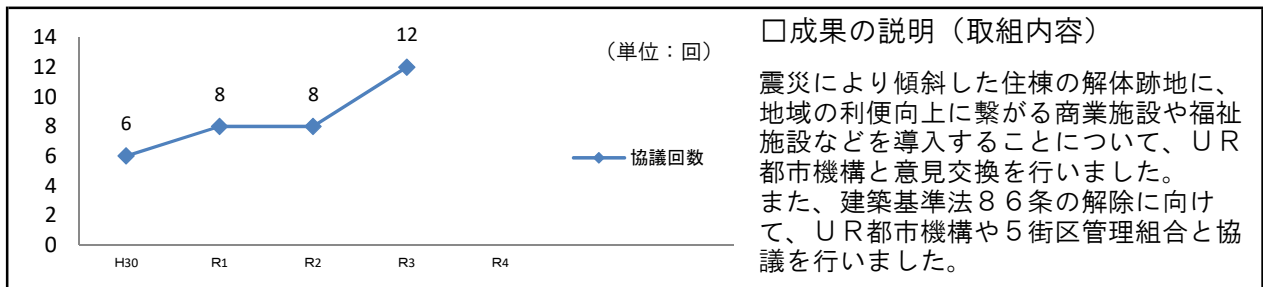
施策番号	6-1-3	実施計画No.	151	重点プロジェクトNo.	②-72	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	都市計画調査等事務					課名	都市計画課	
事業内容	駅を中心としたコンパクトで賑わいのあるまちづくりを実現するため、UR都市機構と連携し、武里団地のリノベーションを推進します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	67.1% (平成28年度)	
現状と課題	武里駅周辺及び武里団地においては、人口減少や高齢者率の増加により、地域の賑わい低下が課題となっています。UR都市機構や地域住民と連携し、地区の魅力を高める取組みが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	68.5%	69.2%	69.9%	70.6%
成果指標の実績値	-	49.5%	58.8%	61.8%	-
達成率	-	72.3%	85.0%	88.4%	-
決算額(千円)	1,242	770	2,618	11,926	-

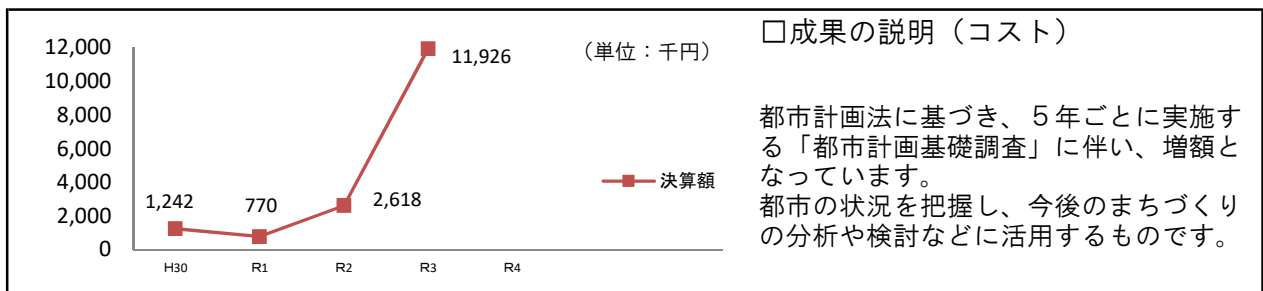
1 「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2. UR都市機構との協議回数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	前年度に引き続き、武里団地内の土地利用を円滑に進めるため、UR都市機構や5街区管理組合と連携し、建築基準法86条の解除について検討を進めました。武里駅西口エリアにおいては、地域で活躍する経営者の方々とのワークショップを開催し、リノベーションまちづくりにおける将来像として、まちのイメージを取りまとめました。
今後の方向性	現状維持 まちのイメージの実現に向けて、まちづくりの担い手の発掘・育成を行う、リノベーションスクールを開催します。武里団地をはじめ、市内外から多くの方が訪れる、武里駅周辺の魅力づくりに取り組みます。

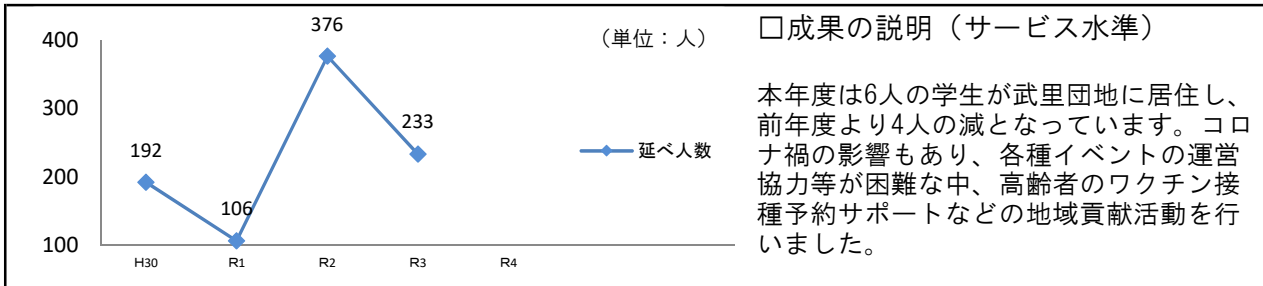
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

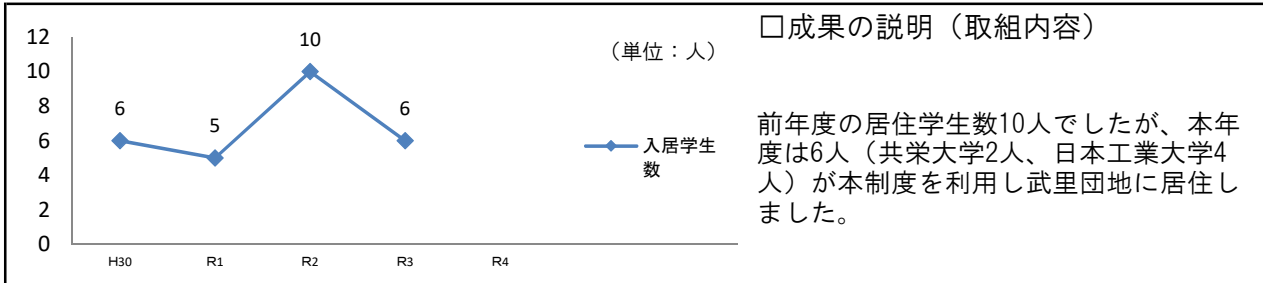
施策番号	6-1-3	実施計画No.	152	重点プロジェクトNo.	②-73	-	補助金No.	3
事業名 (補助金名)	官学連携団地活性化推進事業助成補助金					課名	政策課	
事業内容	武里団地居住者を対象に地域貢献をする学生の在籍する大学等に対し、武里団地に居住するための家賃および大学等までの交通費の一部を助成します。					事業開始年度	平成23年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	地域貢献活動を行った学生の延べ人数					現状値 (平成29年度)	173人	
現状と課題	武里団地は、市内の他の地域と比較し、人口減少、高齢化が進んでいることもあり、地域で新たなにぎわいを創出し、入居者の促進を図ることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	198人	224人	249人	275人	300人
成果指標の実績値	192人	106人	376人	233人	
達成率	97.0%	47.3%	151.0%	84.7%	
決算額(千円)	620	436	1,082	769	

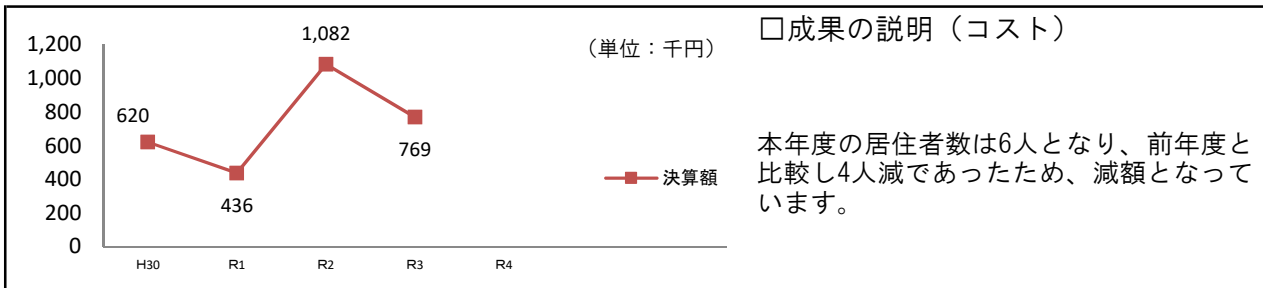
1 地域貢献活動を行った学生の延べ人数



2 武里団地入居学生数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は前年度比4人減の6人が居住しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、地域で開催予定であった各種イベントの運営協力を行えない状況の中、高齢者のワクチン接種予約サポートなどの地域貢献活動を行い、武里団地のにぎわいの創出と多世代交流に寄与したものと考えます。	
今後の方向性	現状維持	武里団地の活性化を図るため、大学等と連携して学生の入居を促進し、コロナ禍において実施可能な取組を検討しながら、団地の新たなにぎわいと魅力の創出に取り組みます。

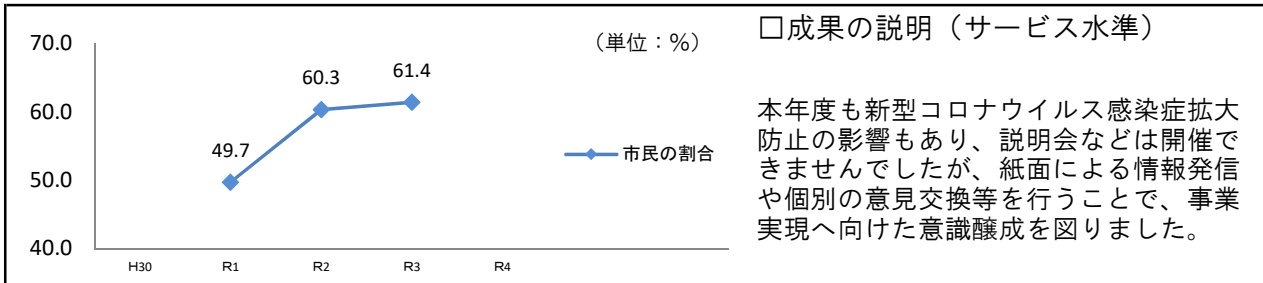
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

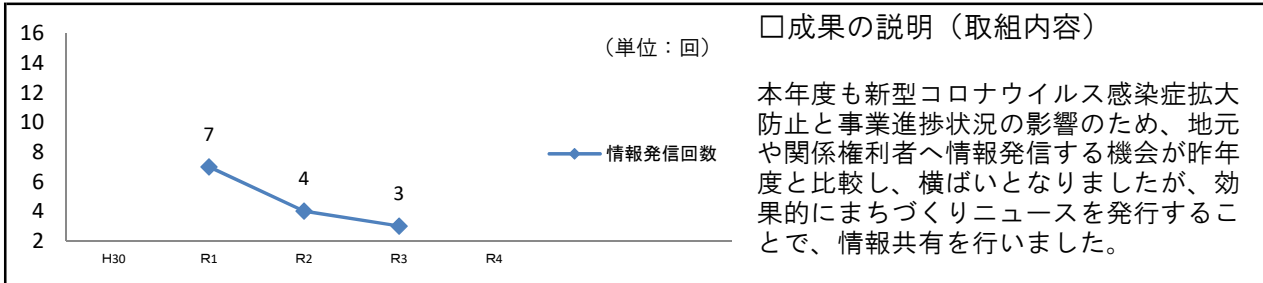
施策番号	6-2-1	実施計画No.	154	重点プロジェクトNo.	②-74	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	産業基盤整備事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	新たな産業集積を図り、計画的な土地利用を推進するため、赤沼・銚子口地区において豊野工業団地の拡張による産業団地整備を推進します。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	「計画的な土地利用の推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成28年度)	61.2%	
現状と課題	人口が減少傾向にある中、持続・発展・躍進し続けるまちを促進するため、職と住居が近接した利便性の高いまちづくりが求められています。このため、交通利便性を生かした新たな産業拠点の形成を図ることが必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	67.6%	70.7%	73.9%	77.1%
成果指標の実績値	-	49.7%	60.3%	61.4%	-
達成率	-	73.5%	85.3%	83.1%	-
決算額(千円)	-	7,893	14,633	17,270	-

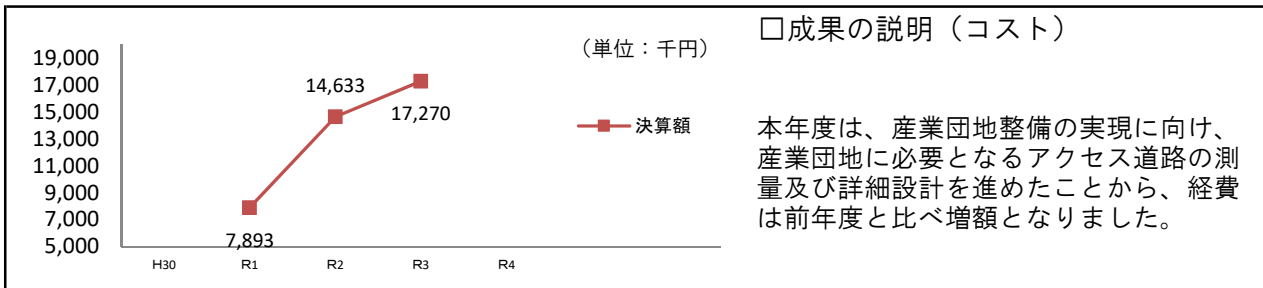
1 「計画的な土地利用の推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 赤沼・銚子口地区産業基盤整備に関する情報発信回数



3 決算額の推移



令和3年度の評価 本年度は、地権者や権利関係者に対し、紙面での情報発信や個別意見交換等を効果的に行うことで、事業実現へ向けた更なる意識醸成を図りました。また、産業団地に必要となるアクセス道路の測量及び詳細設計を進めたことから、産業団地整備の実現に近づきました。

今後の方向性 現状維持 引き続き、事業の実現に必要な調整等を進めていきます。また、地権者の皆様から土地及び物件移転等に同意することを明記した合意書取得に向けた準備に取り組んでいきます。

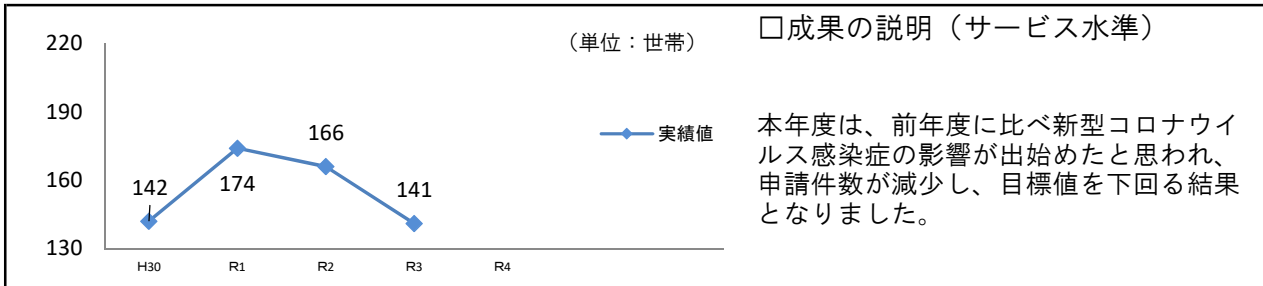
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

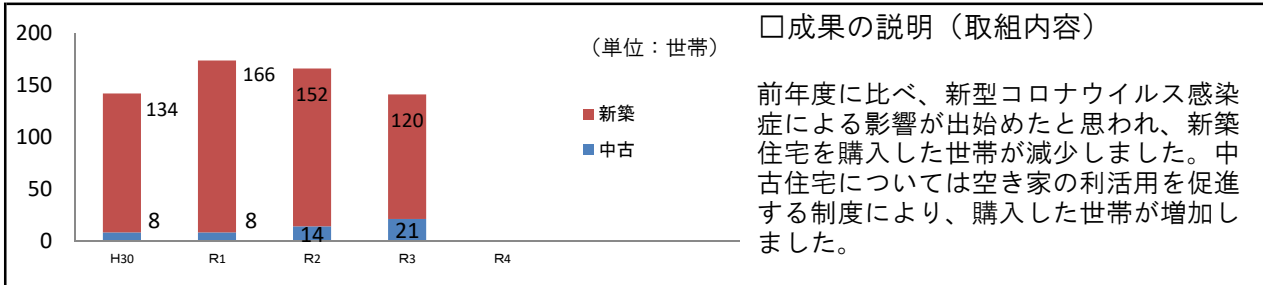
施策番号	6-2-2	実施計画No.	155	重点プロジェクトNo.	①-49	②-75	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	ふれあい家族住宅購入奨励事業					課名	住宅政策課		
事業内容	親世帯と近くに居住するために初めて住宅を取得した子世帯に対し、諸要件を満たした場合に登記費用の一部を支援することで、地域の活性化・定住の促進を図ります。					事業開始年度	平成23年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	三世代近居をはじめた世帯／年度					現状値 (平成29年度)	195世帯		
現状と課題	申請者の市外からの転入割合は、令和3年度で約31%となっており、昨年度と比べ増加しているが、いかに増加させるかが課題となっています。また、申請者のうち中古住宅購入者の割合は約15%となり昨年度より増加しているが、全体から見て低いため中古住宅の一層の利用促進を図ることが課題となっています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	196世帯	197世帯	198世帯	199世帯	200世帯
成果指標の実績値	142世帯	174世帯	166世帯	141世帯	
達成率	72.4%	88.3%	83.8%	70.9%	
決算額(千円)	23,894	32,130	32,671	25,945	

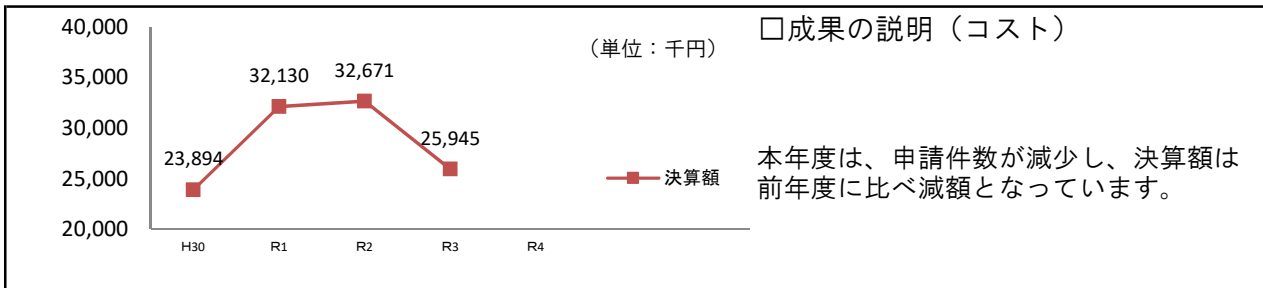
1 三世代近居をはじめた世帯／年度



2 新築住宅・中古住宅を購入した世帯／年度



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が出始めたと思われ、交付件数は141件となり、目標値（199件）を下回る結果となり、前年度に比べ交付額（決算額）が減少しました。中古住宅の購入については空き家の利活用を促進する制度により、前年度に比べ購入した世帯（21件）が増加しました。より一層、定住の促進及び地域の活性化を図るため、効果的かつ幅広い周知を展開していきます。	
今後の方向性	現状維持	市外からの転入割合（令和3年度、約31%）や中古住宅を購入した世帯（令和3年度、約15%）の増加を図るため、制度の利用を促進し、市公式SNS等の活用により効果的なPRを実施することで、更なる定住の促進・地域の活性化を図っていきます。

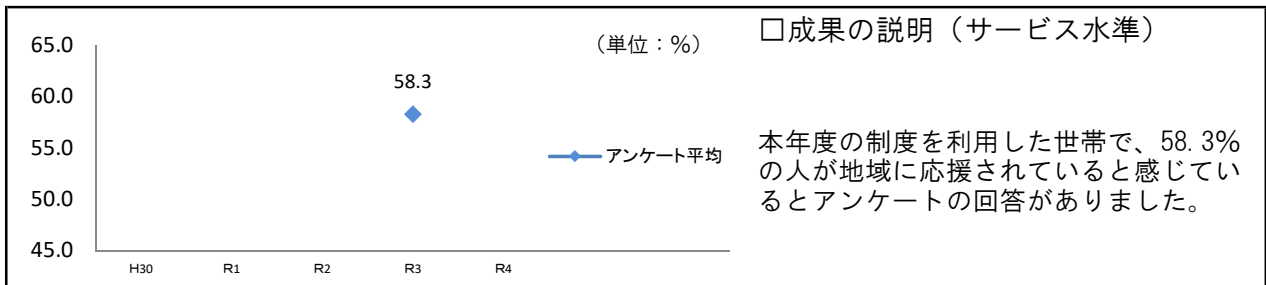
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

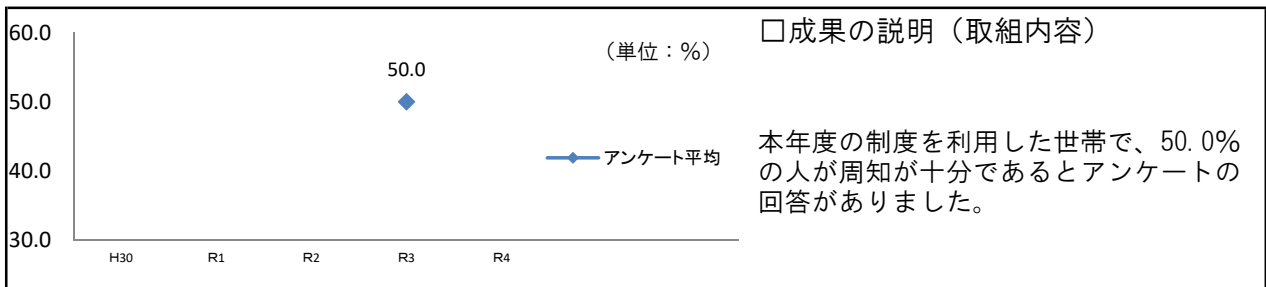
施策番号	6-2-2	実施計画No.	156	重点プロジェクトNo.	②-76	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	結婚新生活支援事業					課名	住宅政策課	
事業内容	婚姻に伴う新生活を経済的に支援することにより、結婚や子育てについての希望をかなえることができる環境をつくり、少子化対策の強化、移住の促進をはかります。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	地域に応援されていると感じた世帯の割合					現状値 (令和2年度)	-	
現状と課題	春日部市の人口動態は出生数が年々減少しているのに対し、死亡者数は高齢化とともに年々増加し、総人口をみると2003年以降減少傾向となっています。そのため、従来の施策をさらに充実させ、一人ひとりの多様なニーズに応えるための妊娠・出産・子育て切れ目ない支援を実施し、少子化対策の強化、移住の促進を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	-	70.0%	80.0%
成果指標の実績値	-	-	-	58.3%	
達成率	-	-	-	83.3%	
決算額(千円)	-	-	-	3,148	

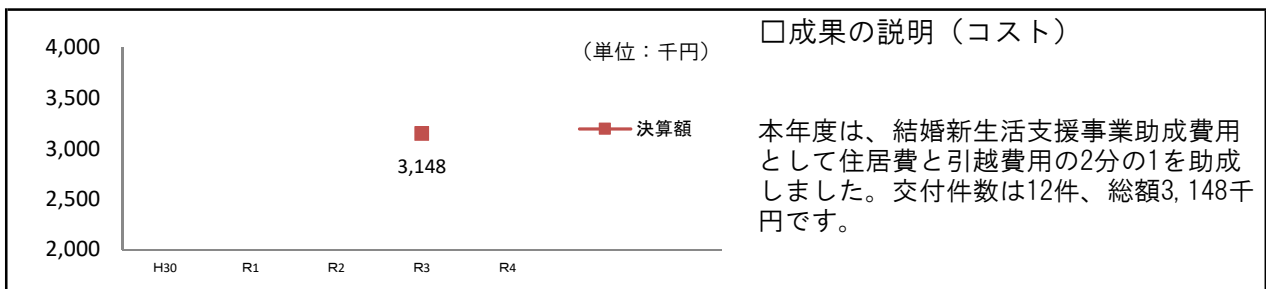
1 地域に応援されていると感じた世帯の割合



2 結婚新生活支援事業の認知度



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	本市の結婚新生活支援事業は、令和3年4月からスタートしました。婚姻に伴う新生活を経済的に支援することにより、結婚や子育てについての希望をかなえることができる環境をつくり、本市における少子化対策の強化及び市への移住促進するため、効果的で幅広い周知を展開し、事業の推進を図っていきます。	
今後の 方向性	現状維持	本市における結婚や子育てについての環境づくりのため、制度の利用を促進し、市公式SNS等の活用により効果的なPRを実施することで、更なる少子化対策の強化及び市への移住促進を図っていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

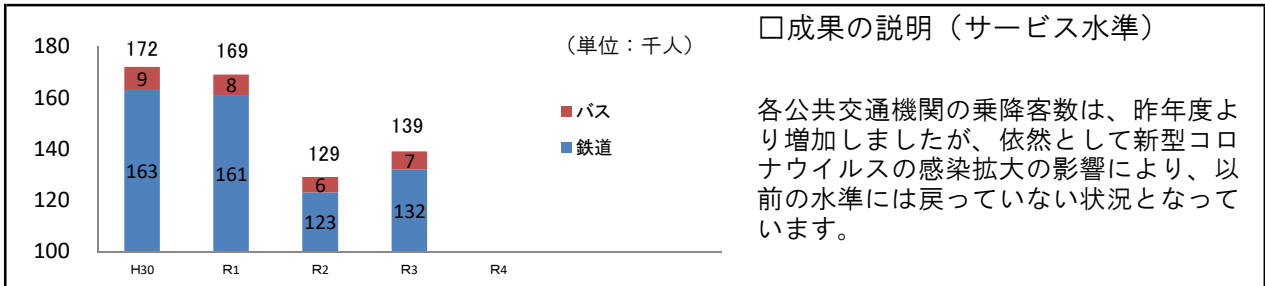


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

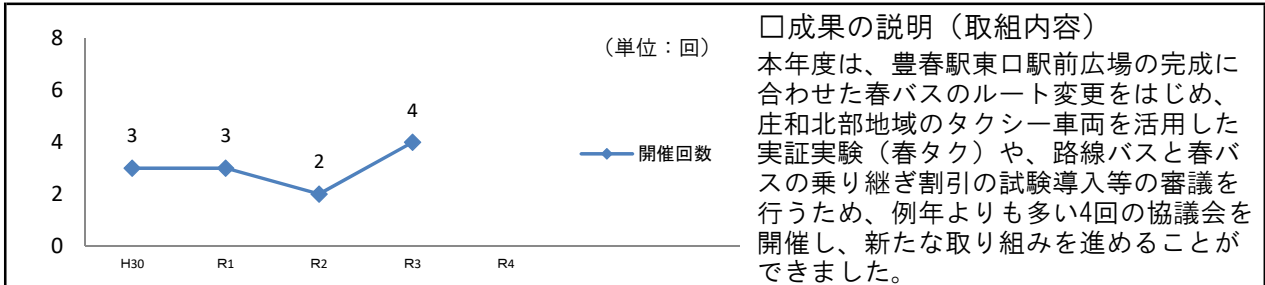
施策番号	6-3-1	実施計画No.	158	重点プロジェクトNo.	②-77	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	コミュニティバス運行事業					課名	都市計画課	
事業内容	市民の交流を促進するとともに、主要公共施設等への交通手段の確保および中心市街地へのアクセスを向上させるため、コミュニティバスを運行します。					事業開始年度	平成19年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	鉄道・バスの1日平均乗降客数					現状値 (平成29年度)	172,000人	
現状と課題	近年の社会情勢の変化等に対応した地域の移動手段の確保が求められているとともに、新型コロナウイルス感染拡大による公共交通への影響に対する対策や、アフターコロナにおける持続可能な公共交通ネットワークの形成が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人
成果指標の実績値	172,000人	169,000人	129,000人	139,000人	
達成率	100.0%	98.3%	75.0%	80.8%	
決算額(千円)	61,519	61,296	70,952	60,819	

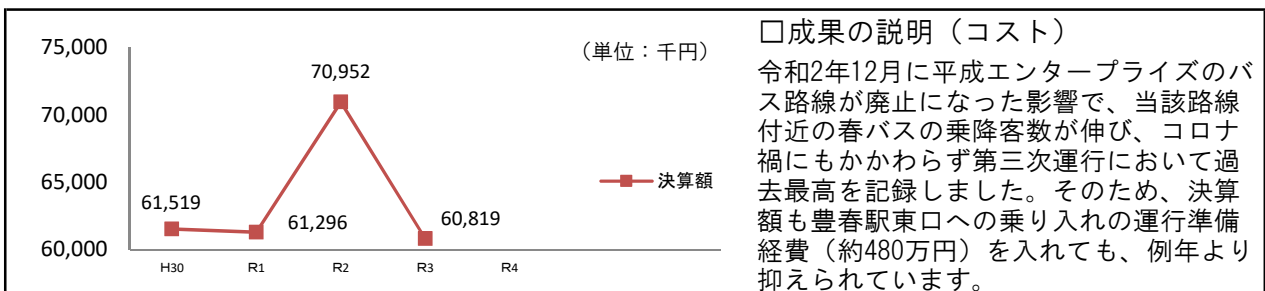
1 鉄道・バスの1日平均乗降客数



2 春日部市地域公共交通活性化協議会開催回数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	各公共交通機関の乗降客数は少し持ち直しの動きが見られたものの、在宅勤務やオンライン会議等の普及により人の動きが減り、各社とも今後コロナ前の水準には戻らないとの見方を強めています。そのような中でも、地域公共交通活性化協議会における協議を通じて、第四次運行を見据えた新たな取り組みである春タクの運行や、路線バスとの乗り継ぎ割引制度の実施を進めることができ、各公共交通機関との連携による公共交通ネットワークの強化を図ることができています。
今後の方向性	見直し 「地域公共交通計画」に定めた施策を着実に進めるとともに、春バスのより効率的で利便性の高いルート・ダイヤの設定だけでなく、公共交通事業者と連携した春タクの運行や、路線バスとの乗り継ぎ割引の実施による、公共交通ネットワークの強化と合わせた第四次春バス運行計画の策定を行ってまいります。

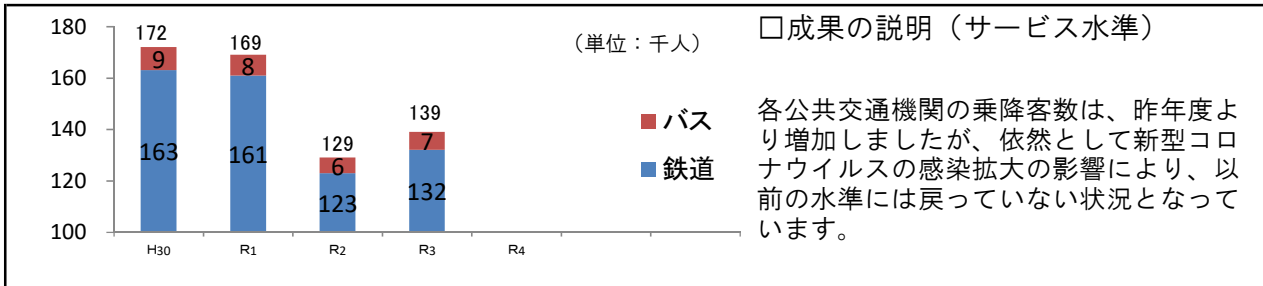
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

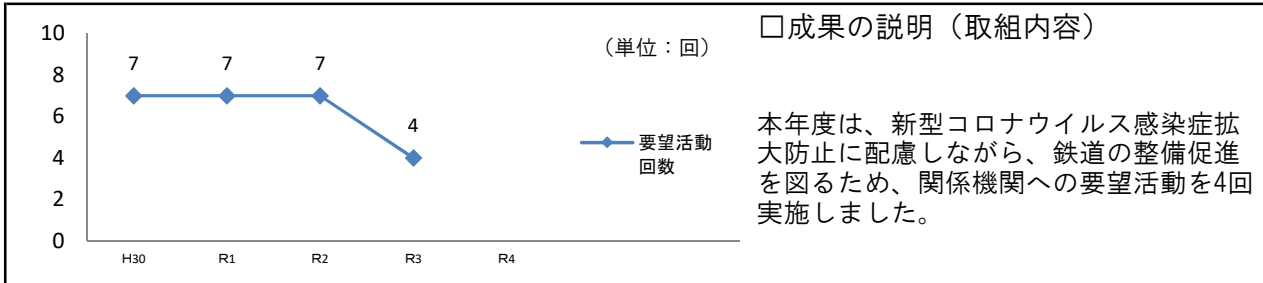
施策番号	6-3-1	実施計画No.	159	重点プロジェクトNo.	②-78	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	鉄道整備促進事業					課名	鉄道高架整備課		
事業内容	沿線地域市町、国、県および鉄道事業者の協力体制により、既設線を利用した相互直通運転など、広域的な鉄道ネットワークの充実や、鉄道の高架化や複線化などの輸送力増強について整備促進に努めます。					事業開始年度	平成24年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	鉄道・バスの1日平均乗降客数					現状値 (平成29年度)	172,000人		
現状と課題	東武スカイツリーライン及びアーバンパークラインは春日部駅で結束し、駅は市内に8駅あります。鉄道路線は交通手段として重要な役割を担っており、公共交通機関の利用を促進するとともに、関係機関に対し、利便性の向上および輸送力の増強を働きかけていく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人
成果指標の実績値	172,000人	169,000人	129,000人	139,000人	
達成率	100.0%	98.3%	75.0%	80.8%	
決算額(千円)	46	44	38	49	

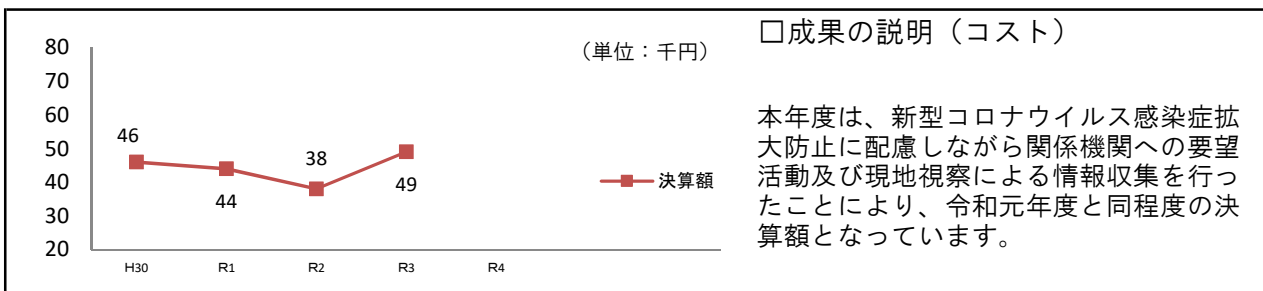
1 鉄道・バスの1日平均乗降客数



2 関係機関（県、鉄道事業者）への要望活動回数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、利便性の向上や輸送力の増強を含む春日部駅の高架化事業が順調に進んだほか、駅施設の改善や広域的な鉄道ネットワークの充実に向け、気運醸成を図ることができました。	
今後の方向性	現状維持	要望活動の取組みなどにより、春日部駅付近連続立体交差事業が目に見える形で動き出しており、駅施設の改善に向け着実に進んでいます。引き続き、関係機関と連携を図りながら、要望活動を実施していきます。

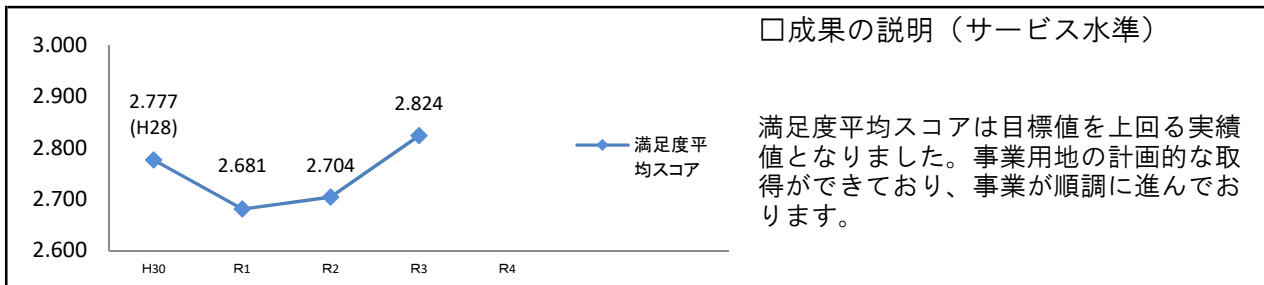
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

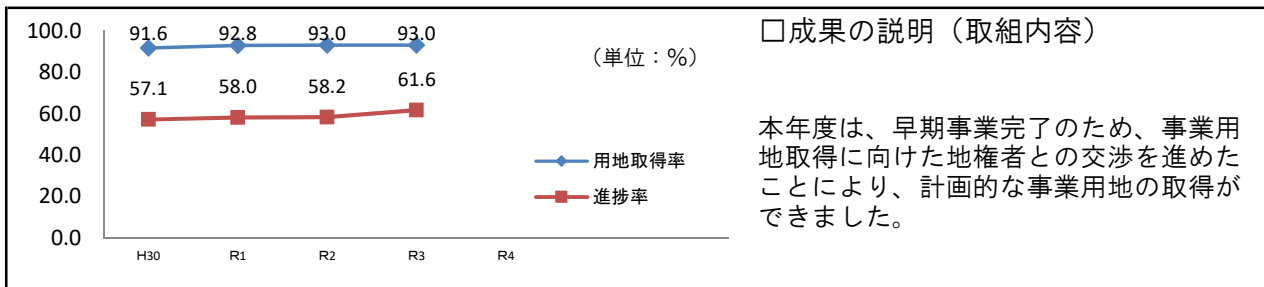
施策番号	6-4-1	実施計画No.	160	重点プロジェクトNo.	②-79	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	武里内牧線整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	武里内牧線の未整備区間について整備を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	武里地区と内牧地区を結ぶ交通の円滑化を図るため、武里内牧線の早期完成が求められています。また、当該路線は、国の社会資本整備総合交付金を受けて整備を行っており、事業推進のためにも安定した財源の確保が必要となっております。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	-
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	-
決算額(千円)	64,214	39,417	24,802	141,117	-

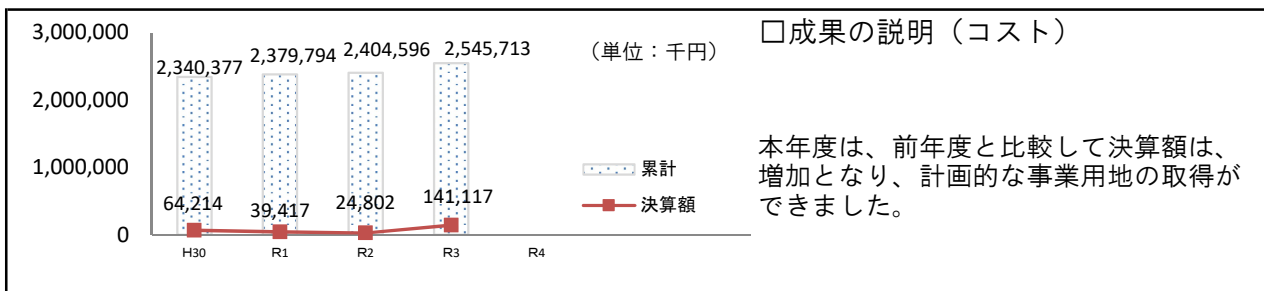
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 武里内牧線の事業用地の取得率と進捗率の推移



3 決算額の推移



令和3年度の評価 本年度は、計画的な事業用地の取得が出来たことにより、武里内牧線の早期完成の実現に近づいたものと考えています。引き続き、広域的な道路ネットワークの形成及び春日部市内の都市内交通の円滑化を図るため、計画的な事業用地の取得を行っていきます。

今後の方向性 現状維持 今後も、引き続き効果的で効率的な都市計画道路の整備を計画的に進めるため、武里内牧線の早期完成に向けて取り組んでいきます。

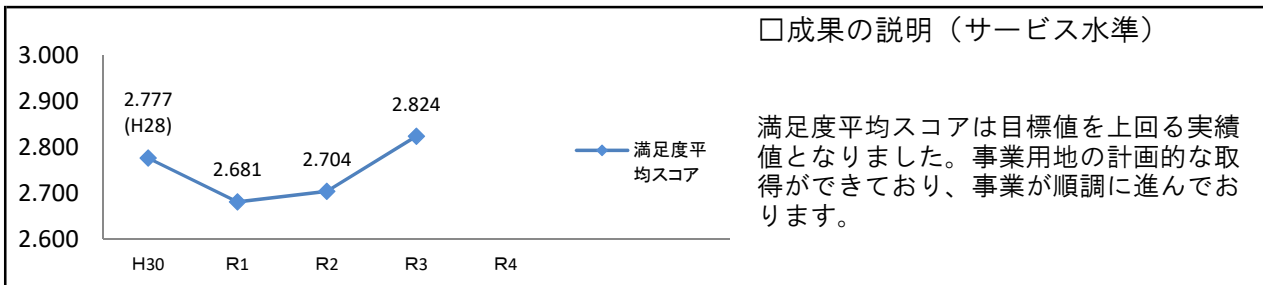
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

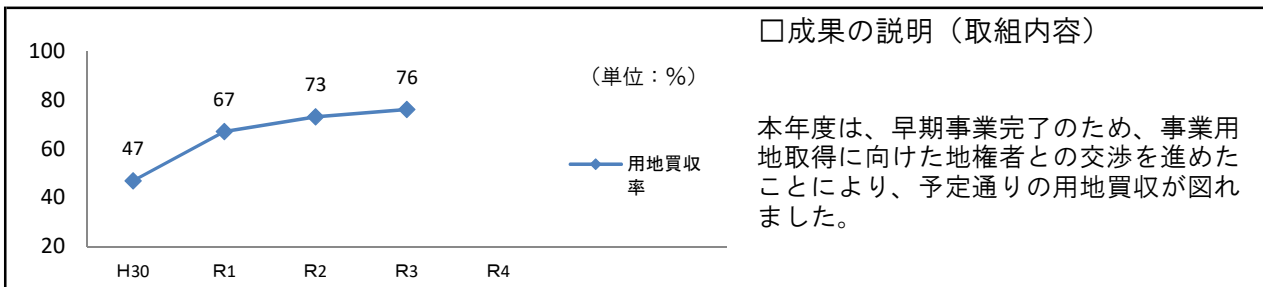
施策番号	6-4-1	実施計画No.	162	重点プロジェクトNo.	②-80	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	中央通り線整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	中央通り線の未整備区間について整備を行います。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)	
現状と課題	市民の活動範囲の広域化と車社会の進展に伴い、道路の役割は重要であり、都市機能向上のために必要な幹線道路（中央通り線）の整備を推進します。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	-
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	-
決算額(千円)	170,039	357,009	108,363	579,914	-

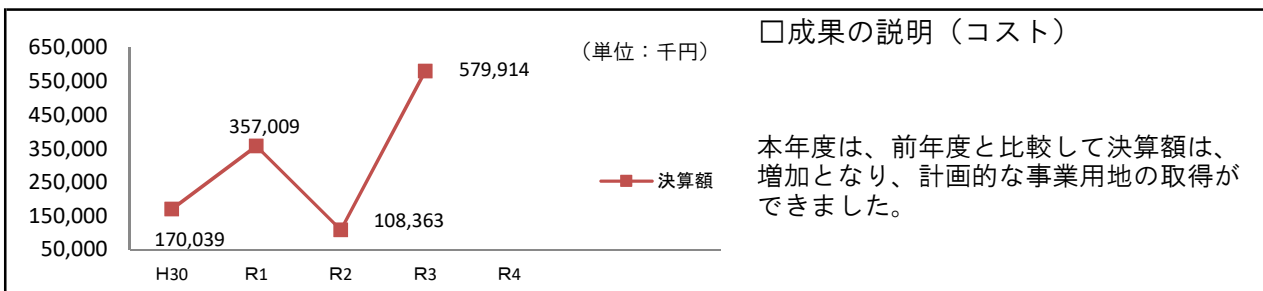
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 中央通り線の整備の用地買収率



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、予定通りの用地買収が図られたことで、都市計画道路中央通り線の早期完成の実現に近づいたものと考えています。
今後の方向性	<b>現状維持</b> 用地買収が予定とおり進んでいることなど、早期完成に向け、都市計画道路中央通り線の整備が推進されており、引続き、地元地権者等のご協力や関係機関と連携を図りながら、早期完成に向けて取り組んでいきます。

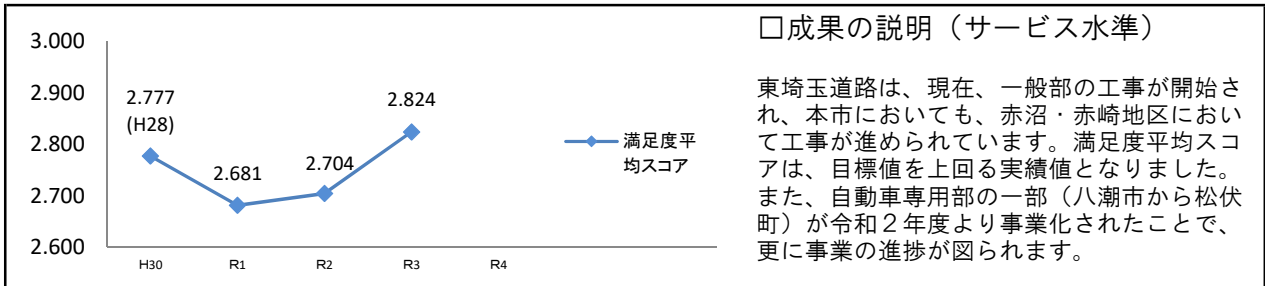
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

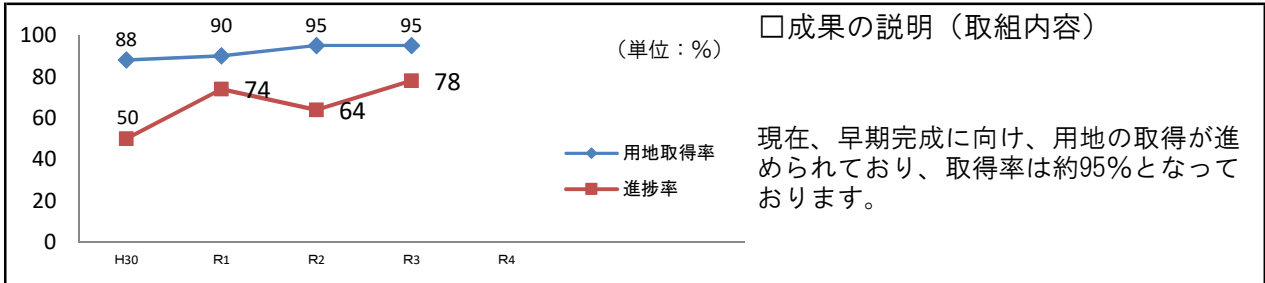
施策番号	6-4-1	実施計画No.	163	重点プロジェクトNo.	②-81	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	街路整備事務					課名	道路建設課	
事業内容	東埼玉道路について、事業主体である国土交通省に対して引き続き要望します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	国道4号の渋滞緩和と周辺地域の開発に寄与する東埼玉道路の早期完成が求められています。そのため、事業主体である国土交通省及び関係機関に対し、東埼玉道路早期完成に向け要望を行っております。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	-
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	-
決算額(千円)	9,160	15,142	25,562	14,576	-

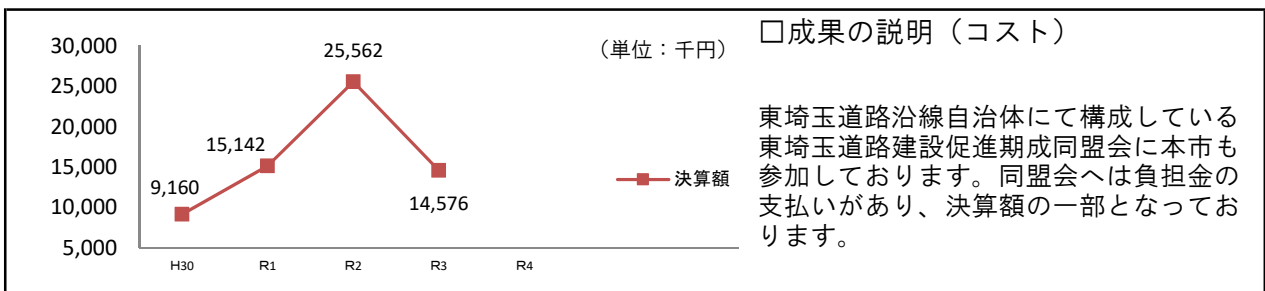
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 東埼玉道路の事業用地の取得率と進捗率の推移



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、昨年同様に事業主体である国土交通省や関係機関に対し、建設促進の要望活動を行い、一般部の用地取得や工事が順調に進められました。また、自動車専用部の一部区間（八潮市から松伏町）が事業化されたことから、東埼玉道路の整備促進が図られたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	今後も、引き続き効果的で効率的な都市計画道路の整備を計画的に進めるため、東埼玉道路の早期完成に向けて取り組んでいきます。

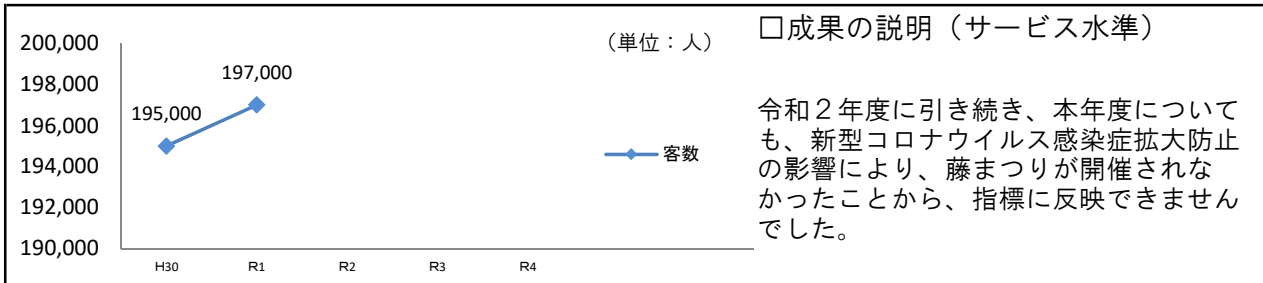
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

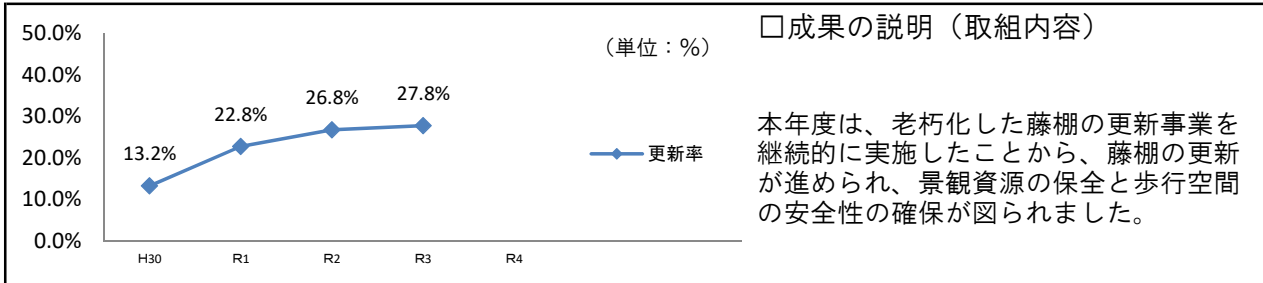
施策番号	6-4-1	実施計画No.	164	重点プロジェクトNo.	②-82	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ふじ通り藤棚修景事業					課名	道路管理課	
事業内容	老朽化した藤棚の改修を実施し、景観資源の保全と歩行空間の安全性を図るとともに、藤の窓口の設置、ふるさとかすかべ応援寄付金のお礼品として、ふじ通りに銘板を設置するなど、市独自の取り組みを行っています。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	藤まつり観光入り込み客数					現状値 (平成29年度)	190,000人	
現状と課題	本市特有の景観資源であるふじ通りの藤棚は、設置後30年以上が経過し、劣化が進行していることから、藤棚の修景を行い、景観資源の保全、歩行空間の安全性確保が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上
成果指標の実績値	195,000人	197,000人	—	—	—
達成率	102.6%	103.7%	—	—	—
決算額(千円)	37,336	72,375	29,835	9,438	—

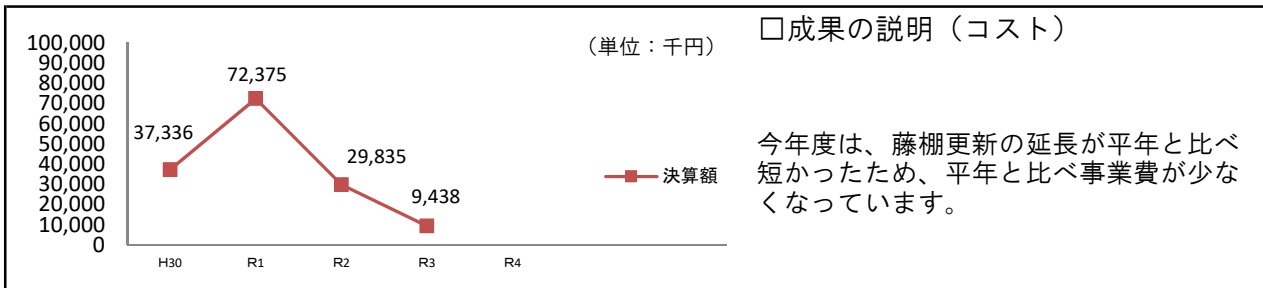
1 藤祭り観光入り込み客数推移



2 藤棚の更新率



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	本年度も、老朽化した藤棚の改修を実施し、景観資源の保全と歩行空間の安全性を図るとともに、藤の窓口の設置、ふるさとかすかべ応援寄付金のお礼品として、ふじ通りに銘板を設置することで、景観資源の保全と歩行空間の安全性の確保及び地域活性化の向上に繋がったものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	本事業は、平成31年度から国庫補助事業の対象外となったことから、今後については、国の動向に注視しつつ新たな国庫補助の獲得、及びより一層の経費縮減策についても検討を行いながら、早期の完成を目指して、引き続き事業を推進していきます。

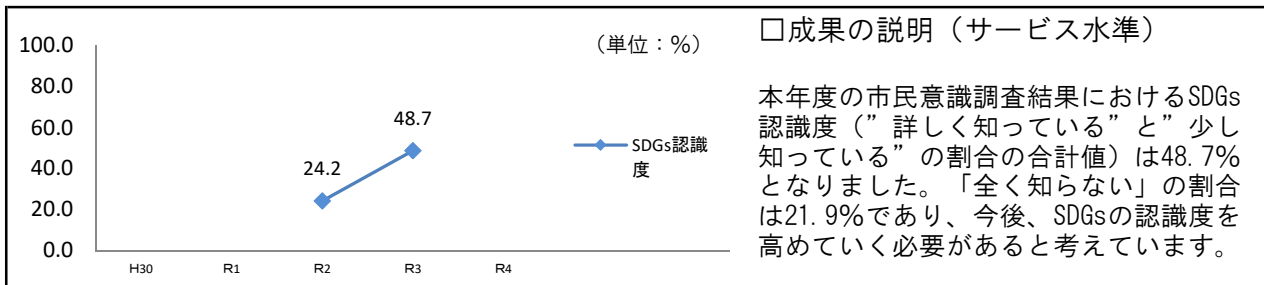
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

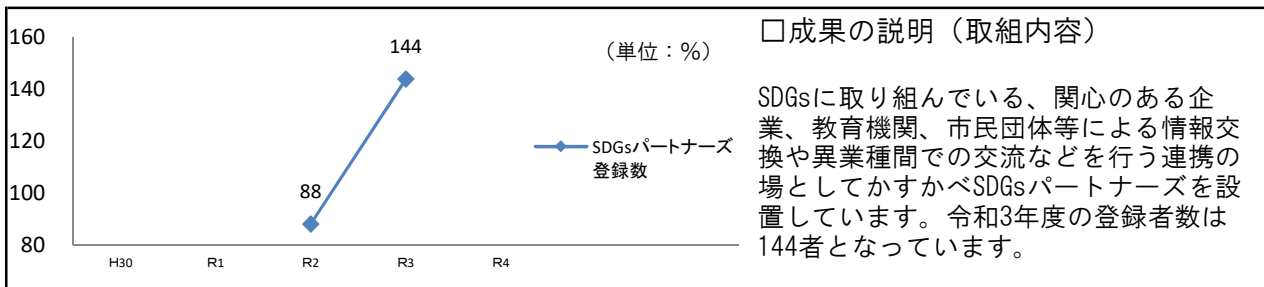
施策番号	7-1-1	実施計画No.	183	重点プロジェクトNo.	①-51 ②-83 ③-122	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	SDGs推進事業				課名	政策課	
事業内容	SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進するために、SDGsの理念の共有、理解に向けた情報発信・普及啓発に取り組みます。				事業開始年度	令和2年度	
					事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	SDGsの市民認識度				現状値 (令和元年度)	-	
現状と課題	SDGsを推進していくためには、市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs認知度を高める必要があります、SDGsの機運醸成を図ることが課題となっています。						

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	25.0%	40.0%	50.0%
成果指標の実績値	-	-	24.2%	48.7%	
達成率	-	-	96.8%	121.8%	
決算額(千円)	-	-	1,510	4,233	

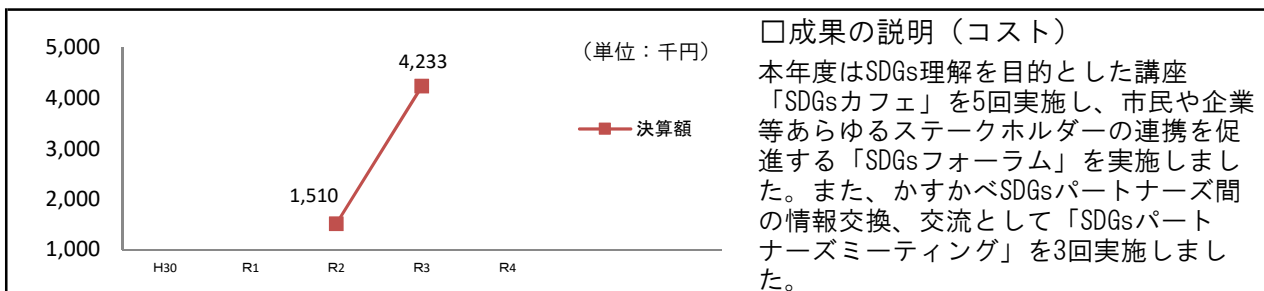
1 SDGs認知度



2 SDGsパートナーズ登録数



3 決算額の推移



令和3年度の評価	本年度は、SDGs理解促進に向けた職員研修の実施やステークホルダー（企業等）の連携に向けたSDGsパートナーズミーティングの実施、また、市民一人ひとりのSDGs理解を目的とした講座「SDGsカフェ」の実施、さらに、市民や企業等あらゆるステークホルダーの連携を促進する機会とする「SDGsフォーラム」の実施などを通じ、SDGs理解促進に努めてきました。今後もSDGsの認知度の向上や機運醸成を図る必要があると考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs機運醸成を図り、SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進してまいります。

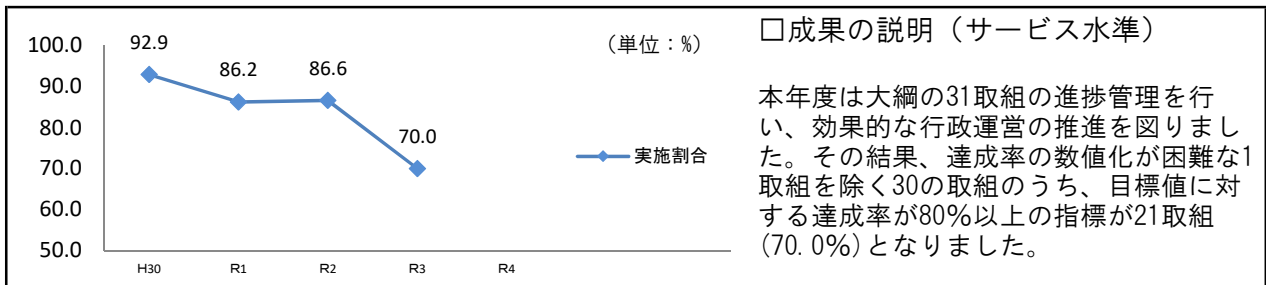
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

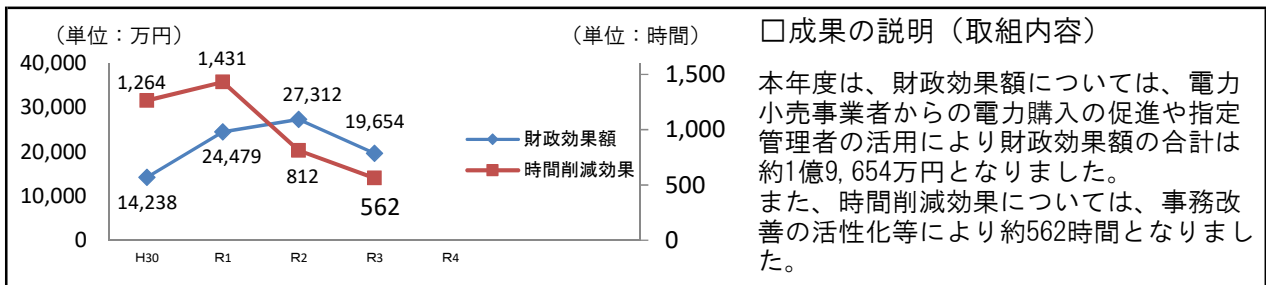
施策番号	7-1-1	実施計画No.	184	重点プロジェクトNo.	②-84	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	行政改革推進事業					課名	政策課	
事業内容	行政改革大綱の進行管理を行い、効果的な行政運営の推進を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	行政改革大綱に基づく取組項目の実施割合					現状値 (平成29年度)	-	
現状と課題	第1次大綱、第2次大綱に基づく様々な行政改革の取組により、これまでも一定の成果を重ねてきましたが、今後、地方公共団体における経営資源の制約が強まる一方で、少子高齢化を背景とした行政需要は確実に増加することが見込まれることから、一層の取組の推進が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	92.9%	86.2%	86.6%	70.0%	
達成率	92.9%	86.2%	86.6%	70.0%	
決算額(千円)	214	277	725	173	

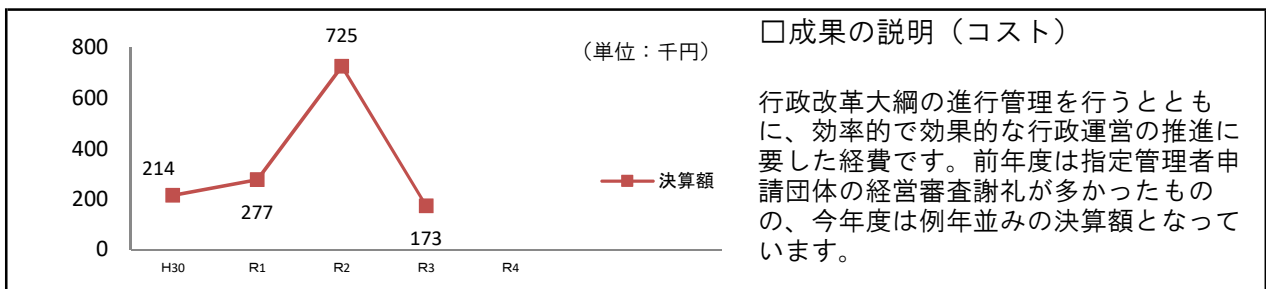
1 行政改革大綱に基づく取組項目の実施割合



2 行政改革大綱に基づく取組による財政効果等



3 決算額の推移



令和3年度の評価  
本年度は31の取組を推進し、財政効果や時間削減効果だけでなく、多様な活動主体との連携・協働など質の高い行政サービスが行われたことから、効果的な行政運営の推進が図られたものと考えています。

今後の方向性  
現状維持  
第3次行政改革大綱の取組4年目である今年度は、31の取組により、財政効果や時間削減効果だけでなく、質の高い行政サービスを行うことができたことから、引き続き関係課と連携を図り、取組を推進していきます。

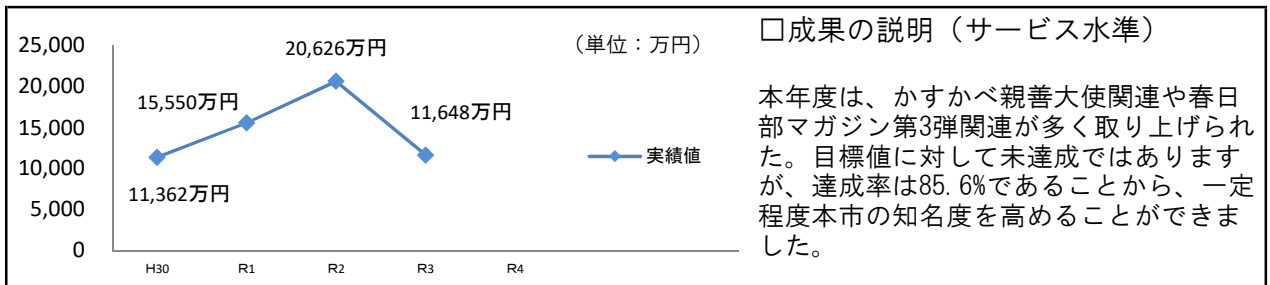


◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

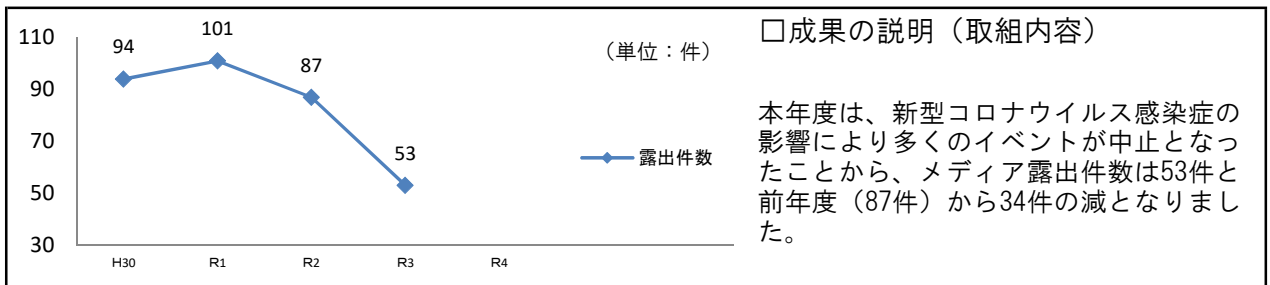
施策番号	7-1-3	実施計画No.	189	重点プロジェクトNo.	②-85	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	シティセールス推進事業					課名	シティセールス広報課	
事業内容	本市の将来像や地域資源等を戦略的に情報発信することにより、本市の知名度を全国的に高めるとともに市のイメージアップを図ります。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	広告費換算金額					現状値 (平成29年度)	37,084万円	
現状と課題	本市には、世界的に有名なアニメキャラクターをはじめ、様々な地域ブランドとなる可能性を秘めた地域資源が存在していますが、それらを効果的・戦略的にシティセールスを展開し、まちの認知度向上及びイメージアップを図っていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9,400万円	10,800万円	12,200万円	13,600万円	15,000万円
成果指標の実績値	11,362万円	15,550万円	20,626万円	11,648万円	
達成率	120.9%	144.0%	169.1%	85.6%	
決算額(千円)	13,882	24,870	22,987	18,608	

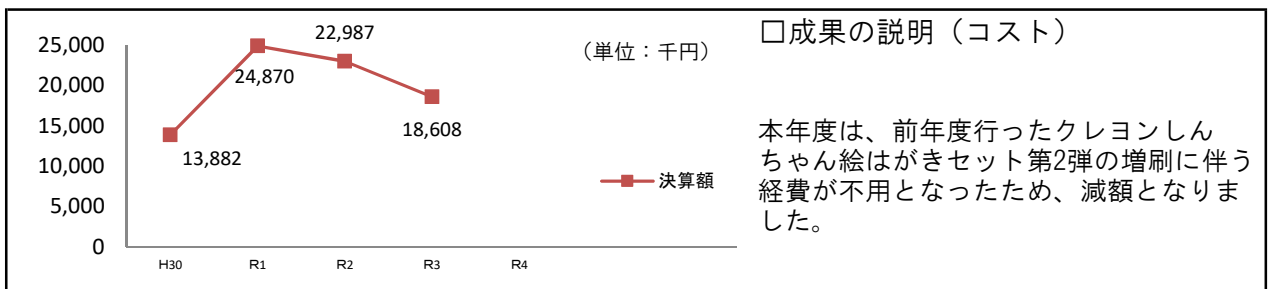
1 広告費換算金額の推移



2 メディアへの露出件数の推移



3 決算額の推移



令和3年度の 評価	本年度は、かすかべ親善大使関連がテレビ・ラジオで、春日部マガジン第3弾関連がウェブメディアを中心に多く取り上げられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントが中止となり、メディアへの露出件数が減少したことにより、広告換算費も減少し目標値は達成できなかったが、一定程度本市のPRが図れたものと考えております。
今後の 方向性	<b>現状維持</b> 本年度は、目標値を下回る結果となりましたが、原因が新型コロナウイルス感染症によるイベントの自粛にあるため、今後も市のPRを多くのメディアに取り上げてもらい、次年度以降に設定している目標値を達成するために、前年に引き続き民間のリリース配信サービスの活用や情報提供のタイミング、リリースの文面や写真の配置等を意識した情報発信に努めていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討